



いわき市流域治水 アクションプラン

～あらゆる関係者との連携・協働による水害対策～

目 次

1	流域治水の推進	1
1.1	気候変動による影響	1
1.2	流域治水への転換	1
1.3	流域治水プロジェクトの策定	2
2	アクションプランの概要	3
2.1	経緯・背景	3
2.2	基本方針	3
2.3	対象流域	3
2.4	対策メニュー	4
2.5	主な取組目標	4
2.6	効果	5
3	フォローアップ	6
3.1	目的	6
3.2	進捗状況と計画の見直し	6
4	今後の取組み	7

【対策メニュー編】

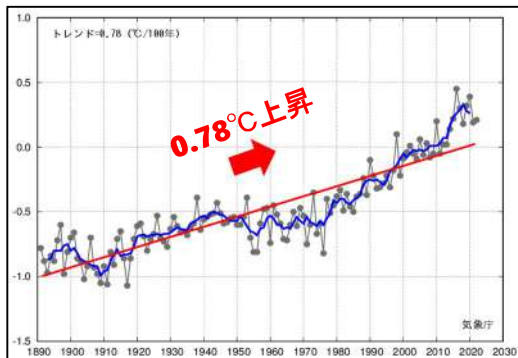
5	行政による対策	9
5.1	氾濫をできるだけ防ぐための対策	9
5.2	被害対象を減少させるための対策	9
5.3	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	10
6	市民の皆様が取り組める対策	171
6.1	氾濫をできるだけ防ぐための対策	171
6.2	氾濫をできるだけ防ぐための対策	171
6.3	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	171
7	企業が取り組める対策	175
7.1	氾濫をできるだけ防ぐための対策	175
7.2	氾濫をできるだけ防ぐための対策	175
7.3	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	175

1 流域治水の推進

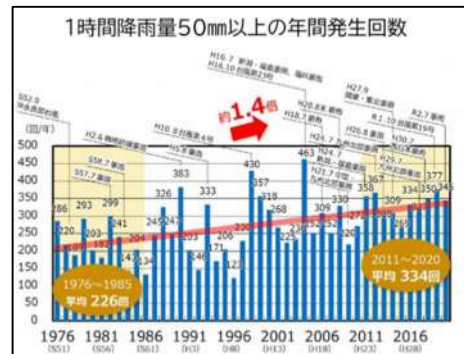
1.1 気候変動による影響

近年、気候変動による影響が顕著化しており、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)の第5次評価報告書において、過去100年程度の間に観測された気候変動について、「気候システムの温暖化には疑う余地はない」とされています。

世界平均地上気温は、1850～1900年の期間平均と2003～2012年の期間平均を比較して0.78℃上昇しており、日本では、約30年前と比較すると、1時間降水量50mm以上の短時間強雨の発生回数が1.4倍となっています。



出典:気象庁「HP」



出典:国土交通省「水害レポート2020」

1.2 流域治水への転換

本市では、令和元年東日本台風など近年の激甚な水害の発生、さらには、今後の気候変動による降雨量の増大や水害の頻発化・激甚化が予測されることを踏まえ、これまでの河川・下水道等による治水対策に加え、河川流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害の軽減を図る「流域治水」への転換を進めてきました。



出典:国土交通省「流域治水施策集」

1.3 流域治水プロジェクトの策定

本市における二級水系のうち河川整備計画に基づき河川整備を予定している夏井川、鮫川及び藤原川の3水系について、河川管理者である県や流域市町村、並びに民間有識者等と連携しながら、河川改修等のハード整備や避難・水防等のソフト施策の全体像を示した「流域治水プロジェクト」を令和3年度に策定しました。

また、令和4年度に進捗状況の見える化などのフォローアップを行い、水害の防止・軽減に向けた取り組みを推進しています。



<夏井川水系流域治水プロジェクト(抜粋)>



<鮫川水系流域治水プロジェクト(抜粋)>



<藤原川水系流域治水プロジェクト(抜粋)>

2 アクションプランの概要

2.1 経緯・背景

本市では、独自に県・市の実務担当者により「いわき市流域治水推進会議(令和3年10月5日)」を設置し、流域治水プロジェクトに位置付けた本市の施策実施に係る連絡調整や課題解決に向けた協議等を行っています。

そこで、流域治水の推進には、本市内で実施している流域治水対策を関係機関で共有しながら多角的な視点から内容の充実や効果的な対策の組み合わせを検討するとともに、市民・企業等に分かりやすく“知らせる”ことで、流域治水に対する理解・協力を得ながら進めるため、「アクションプラン」をとりまとめることとしました。

2.2 基本方針

本アクションプランは、夏井川・鮫川・藤原川水系流域治水プロジェクトをはじめとした、本市内で取り組んでいる治水対策について、「氾濫をできるだけ防ぐための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」のテーマ別に一覧にまとめたうえで、各対策の取り組み概要を明示したものです。

なお、令和5年台風第13号の水害に対する夏井川水系新川・宮川浸水対策については、氾濫要因の分析を踏まえた各対策のスケジュールや事業化に向けたロードマップを示したところであり、各対策における具体的な内容が決まり次第、本アクションプランに反映します。

また、対象流域外についても、本アクションプランを参考とし、流域治水対策を進めることとします。

2.3 対象流域

対象とする流域は、夏井川、鮫川及び藤原川の流域のうち本市内の範囲とします。

2.4 対策メニュー

本アクションプランの対策メニューは、流域治水プロジェクトの3つテーマとなっている「氾濫をできるだけ防ぐための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」ごと、かつ、各水系別にまとめました。

各対策の詳細については、5年間(令和6年度～令和10年度)の取り組み概要をできるだけ具体的に記載しました。

また、市民や企業向けの対策についても、取りまとめました。

なお、対策メニューは、【対策メニュー編 P9～170】に記載しております。

2.5 主な取組目標

「氾濫をできるだけ防ぐための対策」、「被害対象を減少させるための対策」、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」のテーマ別に各対策より指標と目標値を設定し、ハード対策による浸水被害の軽減に加え、避難体制の強化等のソフト対策による逃げ遅れゼロ・災害死ゼロを目指します。

◆ 氾濫をできるだけ防ぐための対策

○ 安全に流す

指 標	目標値
二級河川の改修延長 (夏井川・好間川災害復旧助成事業)	L= 21.5 km
準用河川・普通河川の改修延長 (緊急重点河川改良事業)	L= 10.2 km

○ ためる

指 標	目標値
田んぼダム of 取組み面積	A= 150.9ha ※1
森林経営管理制度による森林整備面積	A= 208.0 ha

※1 「多面的機能支払交付金制度(市)」及び「ほ場整備(県)」における面積。(重複範囲有)

◆ 被害対象を減少させるための対策

○ 土地利用

指 標	目標値
立地適正化計画の改定	防災指針の追加

◆ 被害軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 土地のリスク情報の充実

指 標	目標値
河川洪水ハザードマップを作成・公表する河川数	N= 51 河川

○ 防災意識の普及等

指 標	目標値
登録防災士登録者数	N= 580 名 ※2

※2 市内全体の数(対象流域以外も含む)

2.6 効果

本アクションプランにおける対策メニューを実施した場合、浸水範囲や被害対象の減少、水害リスク情報の充実、避難体制の強化等の効果が発揮され、浸水被害の軽減や早期の避難に関する意識の醸成が図られる。

3 フォローアップ

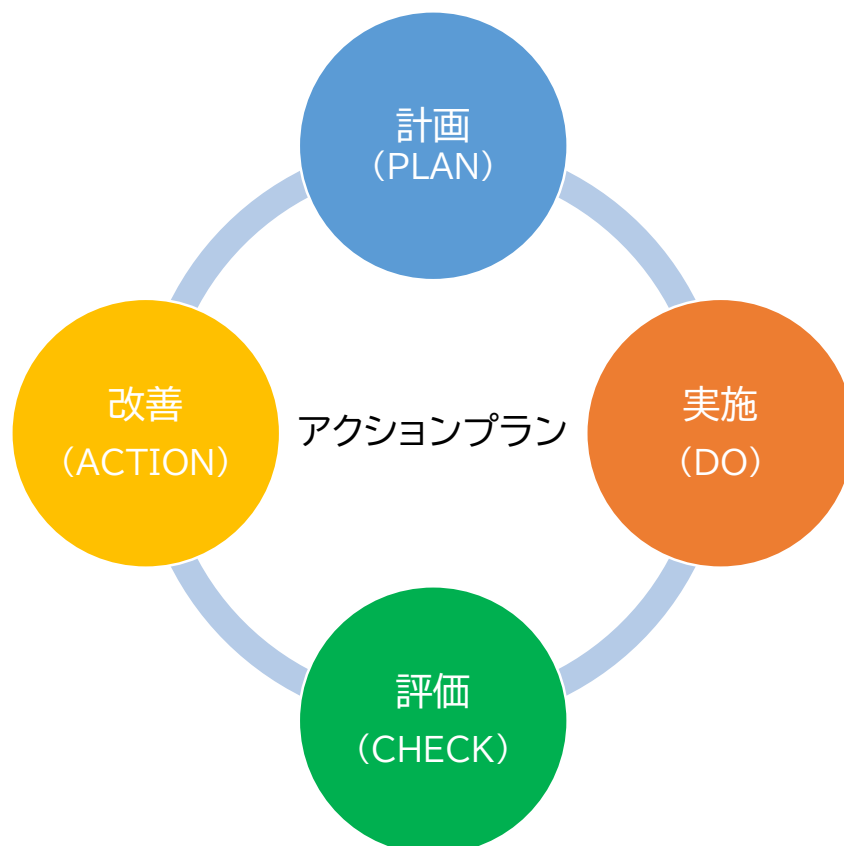
3.1 目的

本アクションプランを基に着実に流域治水を推進するにあたり、進捗状況を確認するとともに、社会情勢の変化や自然災害等による外的要因にも柔軟に対応できるように、必要に応じて対策内容の更新や新規対策の追加などのフォローアップを行っていきます。

3.2 進捗状況と計画の見直し

本アクションプランの進捗状況の確認方法については、年度当初のいわき市流域治水推進会議にて前年度末時点の進捗状況を報告することとします。

また、各対策内容の更新や新規対策の追加等が必要となる場合は、いわき市流域治水推進会議の承認を得ることとします。



4 今後の取組み

流域治水の更なる推進、または、アクションプランを策定するにあたって課題と感じていることを整理しました。

今後は課題解決に向けて、いわき市流域治水推進会議で対策メニューの充実・強化、さらには新規対策の追加の検討を進めるとともに、流域のあらゆる関係者と連携・協働しながら、流域治水の着実な推進に務めます。

- ☑ “流域治水”の認知度の向上
- ☑ 対策による具体的(定量的)な効果の見える化
- ☑ 市民、企業・団体等との連携・協働の強化
- ☑ 自然環境や生物多様性の確保

【対策メニュー編】

5 行政による対策

5.1 氾濫をできるだけ防ぐための対策

対策分類	対象	方法	対策内容	実施主体	水系名			ページ
					夏井川	鮫川	藤原川	
雨水貯留浸透施設の整備 (グリーンインフラ等) ため池等の治水利用 自然地の保全	集水域	ためる、 しみこませる	雨水流出抑制施設の設置補助	いわき市 生活環境部経営企画課	○	○	○	P11-12
			透水性舗装の施工	いわき市 土木部建設事業課	○	○	○	P13-14
			止水板の設置補助	いわき市 生活環境部経営企画課	○	○	○	P15-16
			ため池の洪水時における水位調節	いわき市 農林水産部農林土木課	○	○	○	P17-18
			防災重点農業用ため池の工事	県 いわき農林事務所 農村整備部農村整備課	○	○	○	P19-20
			田んぼダムの取組促進に向けた検討	いわき市 農林水産部農業政策課	○	○	○	P21-22
			田んぼダムの取組支援	県 いわき農林事務所 農村整備部農村整備課	○	○	○	P23-24
			ほ場整備における田んぼダムの取組	県 いわき農林事務所 農村整備部農村整備課	○	○	—	P25-26
			適正な森林整備の推進、 治山事業の実施	いわき市 農林水産部林業振興課	○	○	○	P27-28
				県 いわき農林事務所 森林林業部森林土木課	○	○	○	P29-30
				国 林野庁 磐城森林管理署	○	○	○	P31-32
				国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター	○	—	○	P33-34
			雨水貯留施設等整備の検討	いわき市 生活環境部下水道事業課	○	○	○	P35-36
治水ダムの建設・再生、利水ダム 等において貯留水を事前に放流 し水害対策に活用	河川区域	ためる	事前放流 夏井川水系(小玉川)治水協定	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課 関係利水者	○	—	—	P37-38
洪水調節施設等の整備・活用	河川区域	ためる	湯本川調節池の維持管理	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	—	—	○	P39-40
河道掘削、砂防堰堤、 雨水排水施設等の整備	河川区域	安全に流す	河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施	いわき市 土木部維持保全課	○	○	○	P41-42
				県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	○	P43-44
				県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	○	○	P45-52
				県 勿来土木事務所 業務課	—	○	—	P53-54
			砂防堰堤の整備	県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	○	○	P55-56
			農業水利施設の改修	いわき市 農林水産部農林土木課	○	○	○	P57-58
			治水安全度向上のための橋梁の撤去・改修	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	—	P59-60
			治水安全度向上のための河川内占用物の撤去・移設	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	—	P61-62
			橋梁部における浸水対策	いわき市 土木部維持保全課用地管理担当	○	○	○	P63-64
				県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	—	P65-66
粘り強い堤防を目指した 堤防強化等	河川区域	氾濫水を 減らす	堤防機能強化(堤防天端舗装)	いわき市 土木部建設事業課	○	○	○	P69-70
				県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	○	P71-72
				県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	○	—	P73-78
				県 勿来土木事務所 業務課	—	○	—	P79-80
			水門工	県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	—	—	P81-82
			築堤工、堤防天端舗装工	県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	—	—	P83-84

5.2 被害対象を減少させるための対策

対策分類	対象	方法	対策内容	実施主体	水系名			ページ
					夏井川	鮫川	藤原川	
土地利用規制・誘導、移動 促進、金融による誘導の 検討等	氾濫域	よりリスク の低いエリアへ誘導	立地適正化計画の改訂	いわき市 都市建設部都市計画課	○	○	○	P85-86
			一定規模以上の開発行為に対する 雨水貯留施設等の設置	いわき市 都市建設部建築指導課 開発・盛土対策担当	○	○	○	P87-88
			都市機能誘導施設等整備促進事業における 浸水対策の推進	いわき市 都市建設部都市計画課	○	○	○	P89-90

5.3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

対策分類	対象	方法	対策内容	実施主体	水系名			ページ
					夏井川	鮫川	藤原川	
災害危険区域の指定等	氾濫域	土地のリスク情報の充実	河川洪水ハザードマップの作成	いわき市 土木部土木政策課河川政策担当	○	○	○	P91-92
			浸水(内水)ハザードマップの作成	いわき市 生活環境部下水道事業課	○	○	○	P93-94
			ため池ハザードマップの作成	いわき市 農林水産部農林土木課	○	○	○	P95-96
			防災マップの作成・配布	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P97-98
			洪水浸水想定区域図の公表	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	○	○	P99-100
			小玉ダム下流浸水想定図の作成	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	—	—	P101-102
			土砂災害警戒区域等の指定	県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	○	○	P103-104
			土砂災害警戒区域等の標識設置	県 いわき建設事務所 事業部河川砂防課	○	○	○	P105-106
			土砂災害警戒区域総括図の作成	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P107-108
			河川洪水ハザードマップ(3D化)の活用	いわき市 土木部土木政策課河川課政策担当	○	○	○	P109-110
河川水位等の長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握	氾濫域	避難体制を強化する	危機管理型水位計の設置 簡易型河川監視カメラの設置	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	○	○	P111-112
			水防業務に係るシステム整備	いわき市 土木部土木政策課河川課政策担当	○	○	○	P113-114
			内水対策浸水センサの設置	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	○	—	P115-116
				いわき市 土木部土木政策課河川課政策担当、維持保全課、生活環境部下水道事業課 他	○	○	○	P117-118
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定	氾濫域	経済被害の最小化	企業のBCP策定支援の実施	いわき市 産業振興部産業チャレンジ課	○	○	○	P119-120
			消防庁舎の浸水対策工事の実施	いわき市消防本部	○	○	○	P121-122
			障がい者施設等の水害対策強化	いわき市 保健福祉部障がい福祉課	○	○	○	P123-124
			高齢者施設等の水害対策強化	いわき市 保健福祉部高齢福祉課	○	○	○	P125-126
			ライフラインの浸水対策の検討	いわき市 水道局浄水課、工務課、南部工事事務所	○	○	○	P127-132
排水門等の整備、排水強化	氾濫域	氾濫水を早く排除する	ポンプ施設整備工事の実施	いわき市 土木部維持保全課	○	—	—	P133-134
			下水道施設の強化対策工事の実施	いわき市 生活環境部下水道事業課	○	○	○	P135-136
避難体制等の強化	氾濫域	防災意識の普及等	災害時非常用備蓄品の整備	いわき市 危機管理部危機管理課	○	○	○	P137-138
			自主防災組織の活性化及び防災士の育成	いわき市 危機管理部危機管理課、災害対策課	○	○	○	P139-140
			防災知識の向上と防災意識の高揚	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P141-142
			情報伝達手段の強化	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P143-144
			災害対策BCPの策定	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P145-146
			防災に係る教育活動の実施	いわき市 危機管理部災害対策課	○	○	○	P147-148
			防災に係る出前講座の実施	いわき市 生活環境部下水道事業課	○	○	○	P149-150
			自主防災組織活動の促進	いわき市 内郷支所	○	—	—	P151-152
			社会福祉施設等における避難確保計画の作成等	いわき市 保健福祉部障がい福祉課、高齢福祉課	○	○	○	P153-156
			個人の避難計画を考える「ふくしまマイ避難ノート」の周知	県 危機管理部危機管理課	○	○	○	P157-158
			防災意識向上のための出前講座	県 いわき建設事務所 企画管理部管理課	○	○	○	P159-160
			適切な避難所、避難場所等の設置・運営	いわき市 危機管理部危機管理課	○	○	○	P161-162
			災害協定締結の拡充・活用	いわき市 危機管理部危機管理課	○	○	○	P163-164
その他	集水域	経済被害の最小化	市街地再生整備における法面対策工の実施	いわき市 都市建設部都市整備課	—	—	○	P165-166
			土のう袋及び土砂の提供	いわき市 土木部土木政策課河川課政策担当	○	○	○	P167-168
			災害廃棄物の処理対策強化	いわき市 生活環境部資源循環推進課	○	○	○	P169-170

雨水流出抑制施設の設置補助

取組内容

概 要

都市における浸水被害の軽減及び水資源の有効利用を図るため、公共下水道事業計画区域内において、雨水流出抑制施設(雨水浸透施設、雨水貯留施設、浄化槽転用雨水貯留施設)を設置する者に対して補助を行うものです。

対策のイメージ

雨水流出抑制施設

- ①雨水浸透施設(雨水浸透ます)
- ②雨水貯留施設(雨水貯留タンク)
- ③浄化槽転用雨水貯留施設



対策の効果

- ・ 浸水被害の軽減
- ・ 水資源の有効利用

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

雨水流出抑制施設の設置補助を実施

夏井川水系

これまでの実績

雨水流出抑制施設の設置補助 144 件

今後の予定（5 年程度）

雨水流出抑制施設の設置補助を実施

鮫川水系

これまでの実績

雨水流出抑制施設の設置補助 53 件

今後の予定（5 年程度）

雨水流出抑制施設の設置補助を実施

藤原川水系

これまでの実績

雨水流出抑制施設の設置補助 254 件

今後の予定（5 年程度）

雨水流出抑制施設の設置補助を実施

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室経営企画課 TEL 0246-22-7519

透水性舗装の施工

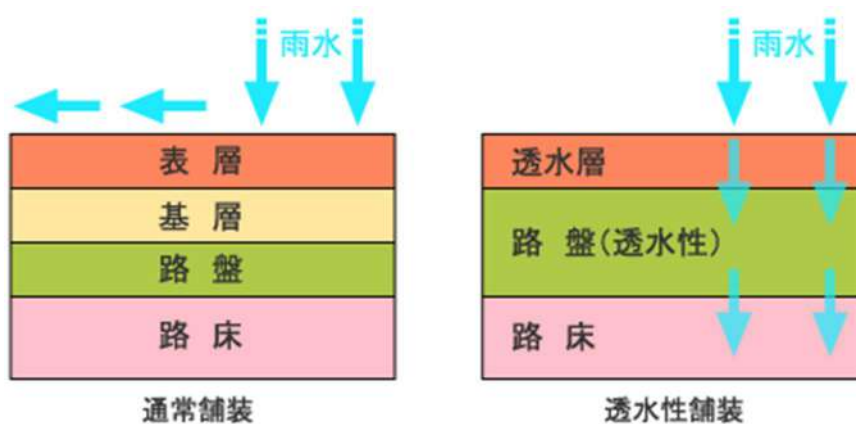
取組内容

概 要

都市計画道路及び市街地部の歩道等の舗装を透水性舗装にするものです。

対策のイメージ

透水性舗装は、隙間のあるアスファルトによって雨を透過させ、地中に還元させる舗装です。



対策の効果

- ・ 雨水の流出抑制(都市型洪水対策)
- ・ 路面の水たまり防止、騒音低減など

目 標

指 標

透水性舗装の整備延長
(都市計画道路及び市街地部の歩道等の舗装を透水性舗装にする)

目標値（令和 10 年度末まで）

透水性舗装 L=1,480m

夏井川水系

これまでの実績

【土木課】
透水性舗装 L=430m
【道路管理課】
透水性舗装 L=360m

今後の予定（5 年程度）

【建設事業課】
透水性舗装 L=890m

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

いわき市土木部建設事業課 TEL 0246-22-7491

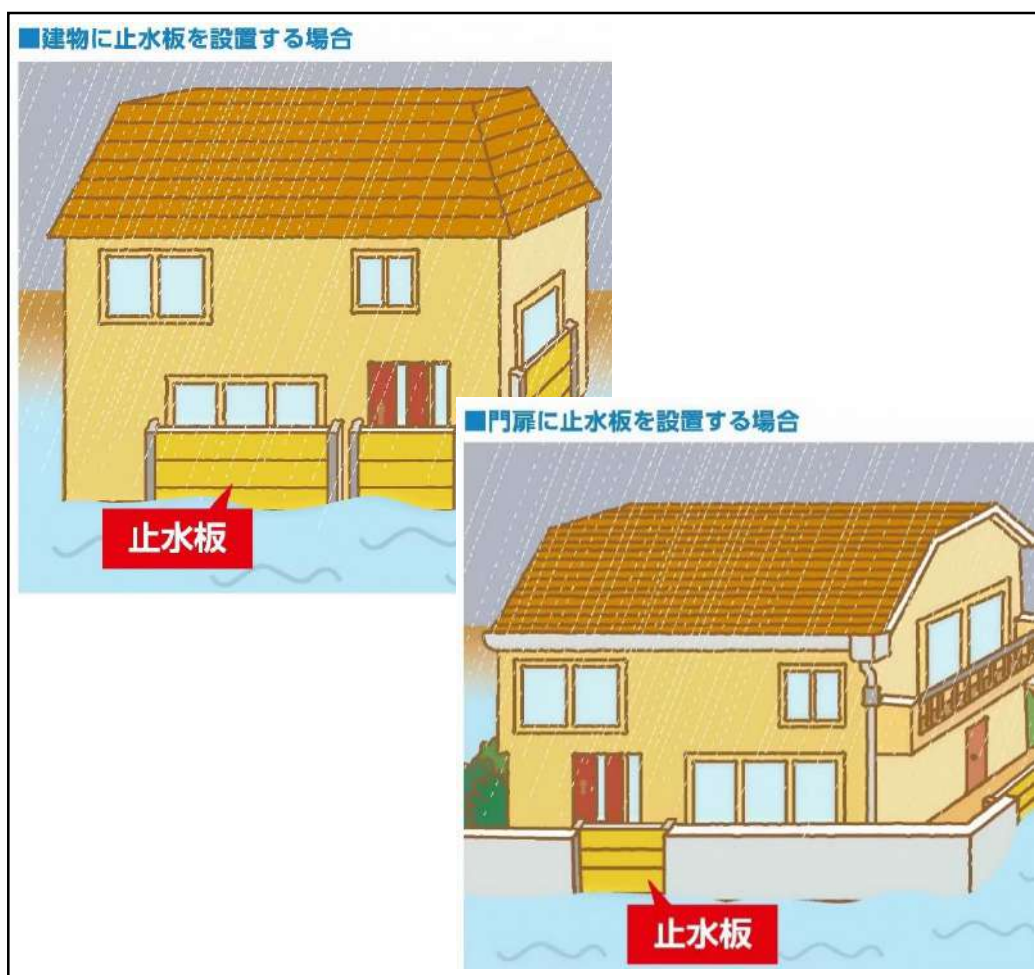
止水板の設置補助

取組内容

概 要

都市における浸水被害の軽減を図るため、公共下水道事業計画区域内で、かつ、浸水(内水)ハザードマップに記載された想定区域において、止水板を設置する者に対して補助を行うものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 浸水被害の軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

止水板の設置補助を実施

夏井川水系

これまでの実績

止水板の設置補助 2 件

今後の予定（5 年程度）

止水板の設置補助を実施

鮫川水系

これまでの実績

止水板の設置補助 0 件

今後の予定（5 年程度）

止水板の設置補助を実施

藤原川水系

これまでの実績

止水板の設置補助 0 件

今後の予定（5 年程度）

止水板の設置補助を実施

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室経営企画課 TEL 0246-22-7519

ため池の洪水時における水位調節

取組内容

概 要

「ため池洪水調整マニュアル」を配布し、ため池管理者による事前放流等の実施を依頼するものです。

対策のイメージ

ため池洪水調整マニュアルは、ため池の洪水調節機能の活用により、水害による被害を軽減することを目的に、ため池の水位調節について示したものです。

○貯留容量の確保（気象情報を確認し、必要な農業用水量に影響のない範囲で、水位を下げるものです。）



貯水時



事前放流後



取水栓による水位調整

対策の効果

- ・ 河川下流部の洪水被害の軽減
- ・ ため池の決壊防止、家屋及び農地被害の軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

98 箇所(池)管理者に依頼

今後の予定（5 年程度）

継続して実施

鮫川水系

これまでの実績

70 箇所(池)管理者に依頼

今後の予定（5 年程度）

継続して実施

藤原川水系

これまでの実績

77 箇所(池)管理者に依頼

今後の予定（5 年程度）

継続して実施

問合せ先

いわき市農林水産部農林土木課 Tel 0246-22-7472

防災重点農業用ため池の工事

取組内容

概 要

ため池には河川への雨水流出を抑制する働きがあるが、老朽化・劣化が進行し、豪雨等による決壊に伴い下流域の家屋等への被害発生が懸念されています。このため令和2年度末に県が策定した『防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画』を踏まえ、令和12年度まで流域内の防災重点農業用ため池の防災工事へ着手し、ため池の改修に取り組むものです。

対策のイメージ

ため池の決壊を防止するため、堤体の補強やため池の洪水吐の改修等を行います。



堤体の補強及び法面保護による浸食防止



ため池の洪水吐きの改修（洪水流下能力の増加）

対策の効果

- ・ ため池の健全化による、決壊の防止

目 標

指 標

防災工事に着手する防災重点農業用ため池箇所数

目標値（令和 10 年度末まで）

2箇所(夏井川水系1箇所、藤原川水系1箇所)

夏井川水系

これまでの実績

2箇所(寺平池、柳沢下池)の事業計画を策定

今後の予定（5年程度）

1箇所(寺平池)の防災工事を実施

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

1箇所(萱手池)においての事業計画を策定

今後の予定（5年程度）

1箇所(萱手池)の防災工事を実施

問合せ先

いわき農林事務所農村整備課

TEL 0246-24-6184

田んぼダムを取組促進に向けた検討

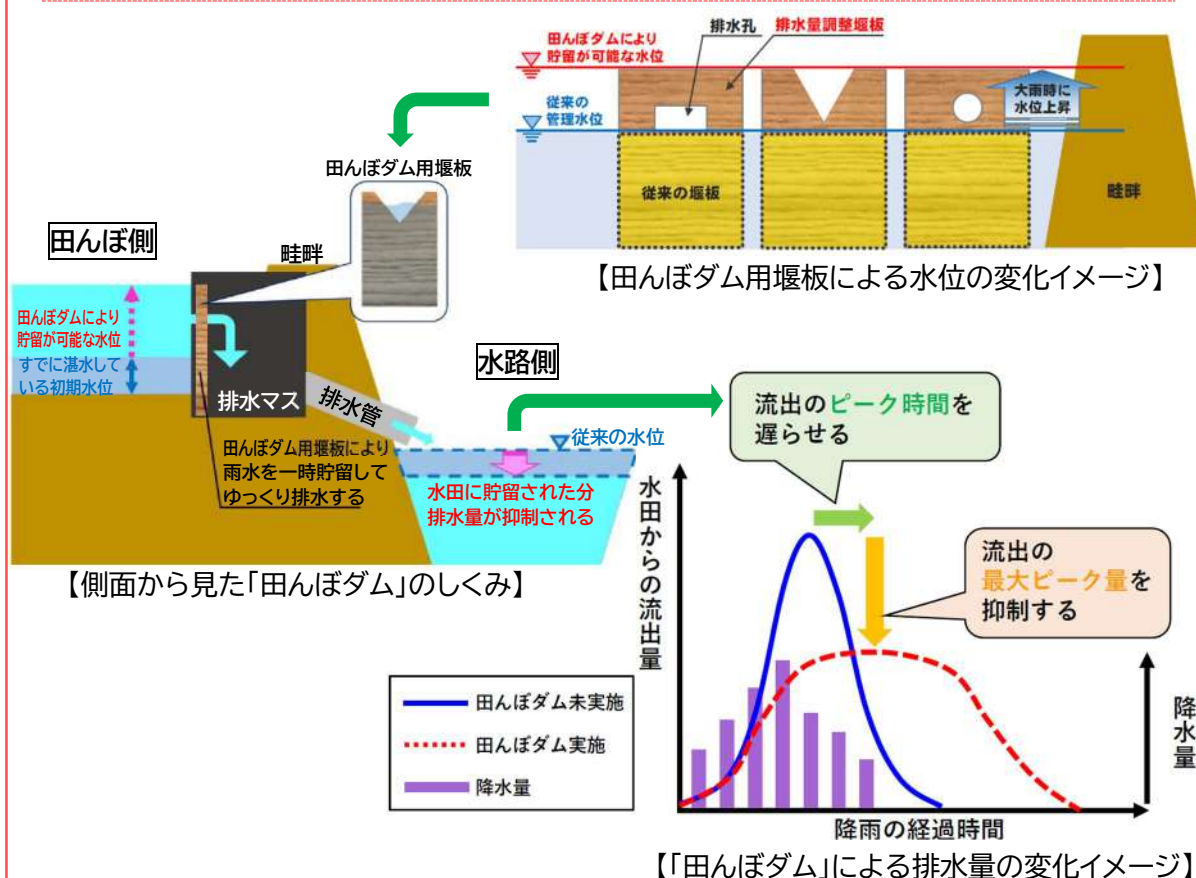
取組内容

概要

水田の多面的機能の一つである雨水貯留機能を活用することで、洪水被害の防止・軽減を図るため、県や地区と連携しながら「多面的機能支払交付金制度」※を活用した「田んぼダム」の取組促進に向けた検討を行い、「田んぼダム」の取組面積の増加につなげるものです。

※「多面的機能支払交付金制度」は、農業者等が共同で行う農地や農業用水などの保土管理や質的向上を図る活動を支援する制度。「田んぼダム」の取組みに対し、補助金の加算あり。

対策のイメージ



出典「田んぼダム技術マニュアル」（県農村振興課、福島県多面的機能支払推進協議会）

対策の効果

- ・ 水田の雨水貯留機能の活用による下流域の洪水被害軽減

目 標

指 標

「田んぼダム」の取組面積
 (「多面的機能支払交付金制度」を活用しての「田んぼダム」取組面積を対象)
 ※ 県の田んぼダムに関する取組みと一部面積の重複あり。

目標値 (令和 10 年度末まで)

78.8 ha

夏井川水系

これまでの実績

・仁井田川(下仁井田、長友地区) 43.9 ha
 ・夏井川(下小川地区) 25.0 ha

今後の予定 (5 年程度)

・加路川(福岡地区) 9.9 ha

鮫川水系

これまでの実績

なし

今後の予定 (5 年程度)

取組面積の増加に向けて推進していく

藤原川水系

これまでの実績

なし

今後の予定 (5 年程度)

取組面積の増加に向けて推進していく

問合せ先

いわき市農林水産部農業政策課 TEL 0246-22-1147

田んぼダムの取組支援

取組内容

概要

下流域の洪水被害を軽減するため、水田の洪水防止機能などの多面的機能を活用することは流域治水の対策の一つとして有効であることから、地域や市に対し「田んぼダム」に関連する事業制度や先進事例の効果等の情報提供を行うなど、「田んぼダム」の取組みについて支援を行うものです。

対策のイメージ

①水田の整備状況に応じた推進

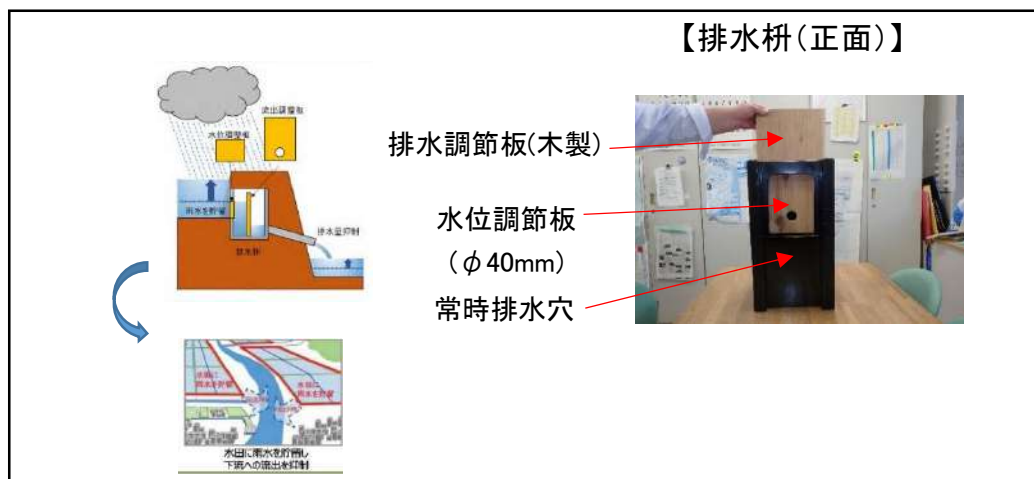
- ・ ほぼ整備事業等により排水調整設備が整備されている地域においては、取組が容易であることから、地域で効果的と考えられる器具等を示すことにより、農業者に対する田んぼダムの普及を推進する。
- ・ ほぼ整備事業等が予定されていない地域において取り組む場合は、整備可能な事業制度の情報を発信し、水田の排水調整設備の設置や排水路改修等を支援する。

②地域ぐるみでの取組推進

一定のまとまりのある範囲で取り組むことにより大きな効果の発現につながると考えられることから、多面的機能支払制度に取り組む活動組織や水利組合、農業機械の利用組合等の農業者で構成される団体に対する取組の理解醸成を図る。

③「田んぼダム」の設置、管理・運営のための技術支援

取組に意欲的、取組の実施に向けて動きがある農業者や関係団体に対して、水田の条件に応じた資材の選択、施工、管理など技術的な指導・研修に活用、取組の推進、支援を図る。



対策の効果

「田んぼダム」は、水田の排水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などをとりつけ、水田に降った雨を時間をかけてゆっくりと排水することで、流出量のピーク(最大流出量)を抑制する。

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

いわき農林事務所管理課 TEL 0246-24-6181

ほ場整備における田んぼダムの取り組み

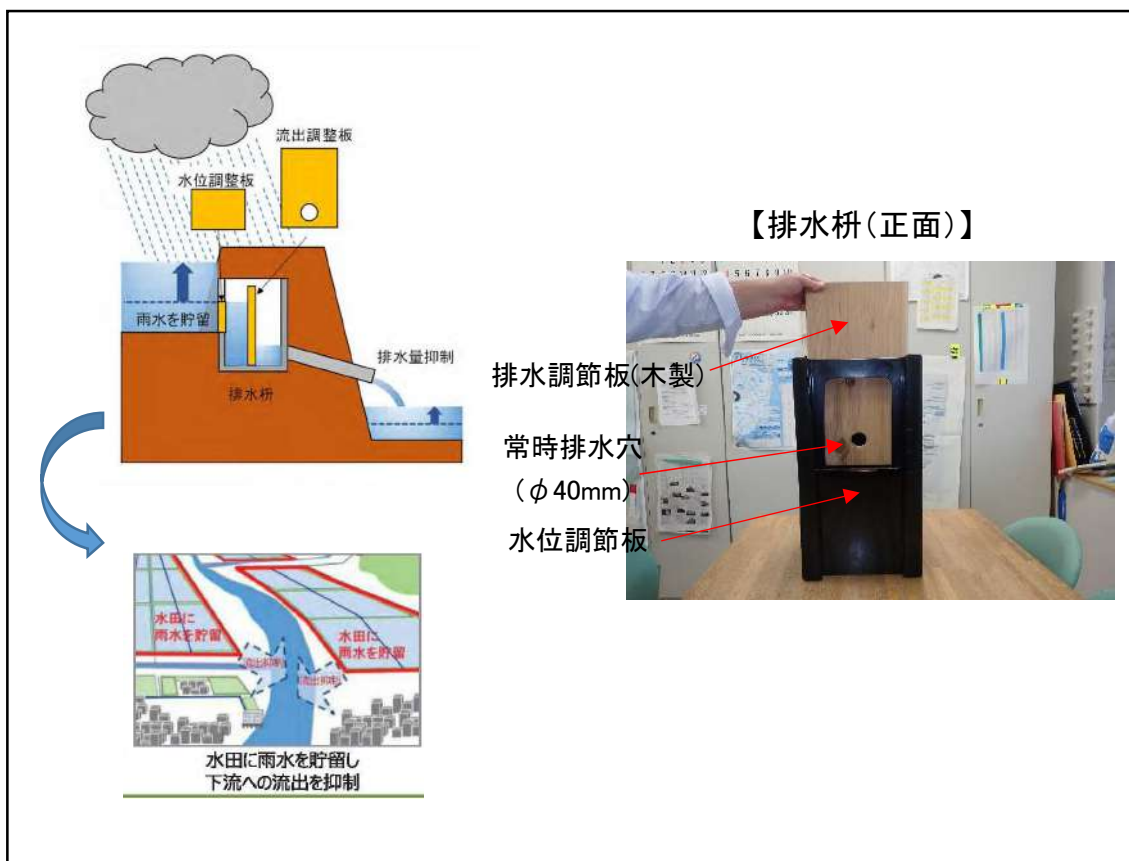
取組内容

概要

国の補助事業『農地中間管理機構関連農地整備事業』により実施している、ほ場整備において、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水する「田んぼダム」の取組を行うものです。

対策のイメージ

水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することができます。



対策の効果

- ・ 流出量のピーク(最大流出量)を抑制
- ・ 下流域等の浸水被害リスクの軽減

目 標

指 標

田んぼダム取組面積

(ほ場整備で新たに田んぼダム機能を有する排水枡を設置した水田面積)

目標値 (令和 10 年度末まで)

A=72.1ha(神谷 34.7ha、山田 37.4ha)

夏井川水系

これまでの実績

神谷地区 A=29.6ha

今後の予定 (5 年程度)

神谷地区 A=5.1ha

鮫川水系

これまでの実績

山田地区 A=37.4ha

今後の予定 (5 年程度)

問合せ先

いわき農林事務所農村整備課 TEL 0246-24-6184

森林経営管理制度による森林整備の推進

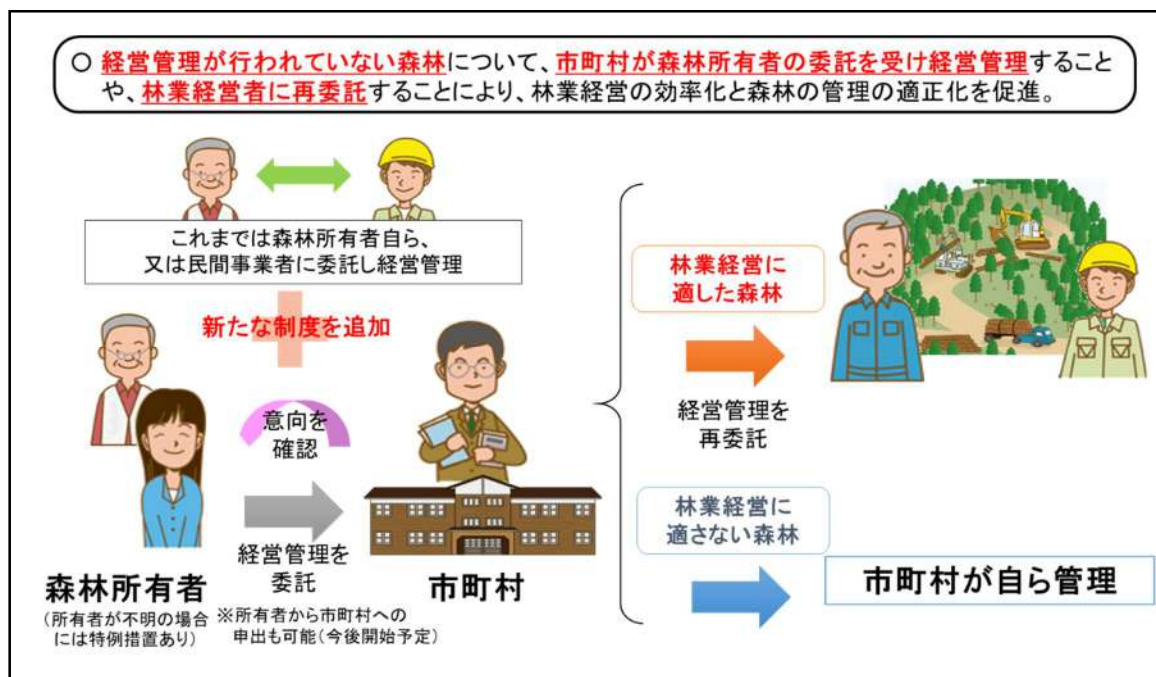
取組内容

概要

森林が有する水源かん養機能や土砂流出防止機能の適切な保持・向上、さらには林業の成長産業化に向けて「森林経営管理制度」を活用し、間伐や再造林等による森林整備を推進するものです。

対策のイメージ

- 経営管理(適正な森林整備)が行われていない森林(人工林)のうち、森林所有者の意向により市に経営管理を委託されたものです。
 - (1) 林業経営に適さない森林の場合:市が森林整備を実施。
 - (2) 林業経営に適した森林の場合:意欲ある林業経営体等に経営管理を再委託し森林整備を実施。



出典：林野庁ホームページ

対策の効果

- ・ 森林が持つ洪水緩和機能や土砂流出防止機能の維持

目 標

指 標

森林経営管理制度による森林整備面積

(人工林のうち、森林経営計画樹立森林等を除いた森林を対象とする)

目標値（令和 10 年度末まで）

208ha

夏井川水系

これまでの実績

- ・ 事業説明会の開催(好間地区)
- ・ 森林境界候補図の作成(好間地区)

今後の予定（5 年程度）

- ・ 事業説明会の開催
- ・ 森林所有者の意向調査
- ・ 経営管理権の設定
- ・ 森林整備(間伐等)

鮫川水系

これまでの実績

- ・ 事業説明会の開催(遠野地区)
- ・ 森林境界候補図の作成(遠野地区)

今後の予定（5 年程度）

- ・ 事業説明会の開催
- ・ 森林所有者の意向調査
- ・ 経営管理権の設定
- ・ 森林整備(間伐等)

藤原川水系

これまでの実績

- ・ 実績なし

今後の予定（5 年程度）

- ・ 事業説明会の開催
- ・ 森林所有者の意向調査
- ・ 経営管理権の設定
- ・ 森林整備(間伐等)

問合せ先

いわき市農林水産部林業振興課 TEL 0246-22-1181

治山事業の実施

取組内容

概 要

山腹の崩壊、溪流の荒廃を防止するための山腹工、谷止工等を施工する治山対策や間伐や下刈りなどの森林整備を実施し、保安林等森林の有する水源かん養機能や土砂流出防止機能等を発揮されるものです。

対策のイメージ

【山腹工 永崎字橋出地内】



【山腹工 田人町南大平字下毛地内】



対策の効果

- ・ 保安林等森林の有する水源かん養機能や土砂流出防止機能等の発揮

目 標

指 標

磐城地域森林計画に基づき実施

(計画期間 令和 5 年 4 月 1 日から令和 15 年 3 月 31 日)

目標値 (令和 10 年度末まで)

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

治山事業施工地区数 30箇所
(平成 30 年度から令和6年度)

今後の予定 (5 年程度)

治山事業施工地区数 33 箇所

問合せ先

いわき農林事務所森林林業部森林土木課

TEL 0246-24-6198

適正な森林整備の推進、治山事業の実施

取組内容

概 要

林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした治山対策・森林整備に取り組んでいるものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 間伐の実施により、森林の水源涵養機能の増進。
- ・ 荒廃した溪流に治山ダムを設置することにより、浸食や崩壊の防止。

目 標

指 標

森林の有する水源涵養機能や土砂流出防止機能の適切な発揮に向け治山対策を推進し、山地災害から生命や財産を守ります。また、災害が発生した場合は被害拡大を防ぐため、森林を早期に復旧させます。

夏井川水系

これまでの実績

夏井川、好間川、小玉川、鹿又川

今後の予定（５年程度）

夏井川、小玉川、鹿又川

鮫川水系

これまでの実績

鮫川、四時川、荷路夫川、別当川、入遠野川、清道川、折松川、天王川、沢山川

今後の予定（５年程度）

鮫川、四時川、荷路夫川

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（５年程度）

—

問合せ先

磐城森林管理署治山グループ TEL 0246-66-1234

適正な森林整備の推進

取組内容

概 要

森林整備センターでは、分収造林契約した山地森林の整備・保全を行い、森林の有する公益的機能の高度発揮を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 中・長期的な森林の整備による水源涵養機能発揮
(保水・浸透機能の強化、土砂流出量の抑制)

目 標

指 標

水源林造成事業は、森林による水源涵養等の公益的機能維持増進を図るため、長期間(50年から150年程度)にわたり適正な管理を安定的に実施することを指標としており、森林の状況に応じた対応を行っています。

目標値(令和10年度末まで)

—

夏井川水系

これまでの実績

植栽面積 350ha

今後の予定(5年程度)

除伐・間伐・更新伐の実施

藤原川水系

これまでの実績

植栽面積 127ha

今後の予定(5年程度)

除伐・間伐・更新伐の実施

問合せ先

福島水源林整備事務所 TEL 024-521-3409

雨水貯留施設等整備の検討

取組内容

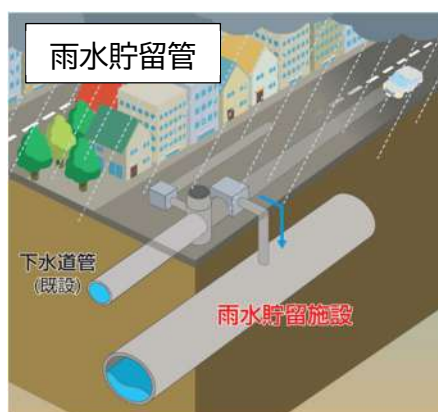
概 要

浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設等の整備の検討を行うものです。

対策のイメージ

公共用地(公園や道路)を候補地として雨水調整池や雨水貯留管を新設するものです。

【イメージ図】



対策の効果

- ・ 浸水被害の軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

雨水管理総合計画に基づく事業着手

夏井川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

御厩第一排水区、綴第一排水区
（調査設計および管理者等協議）

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室下水道事業課 TEL 0246-22-1195

事前放流 夏井川水系（小玉川）治水協定

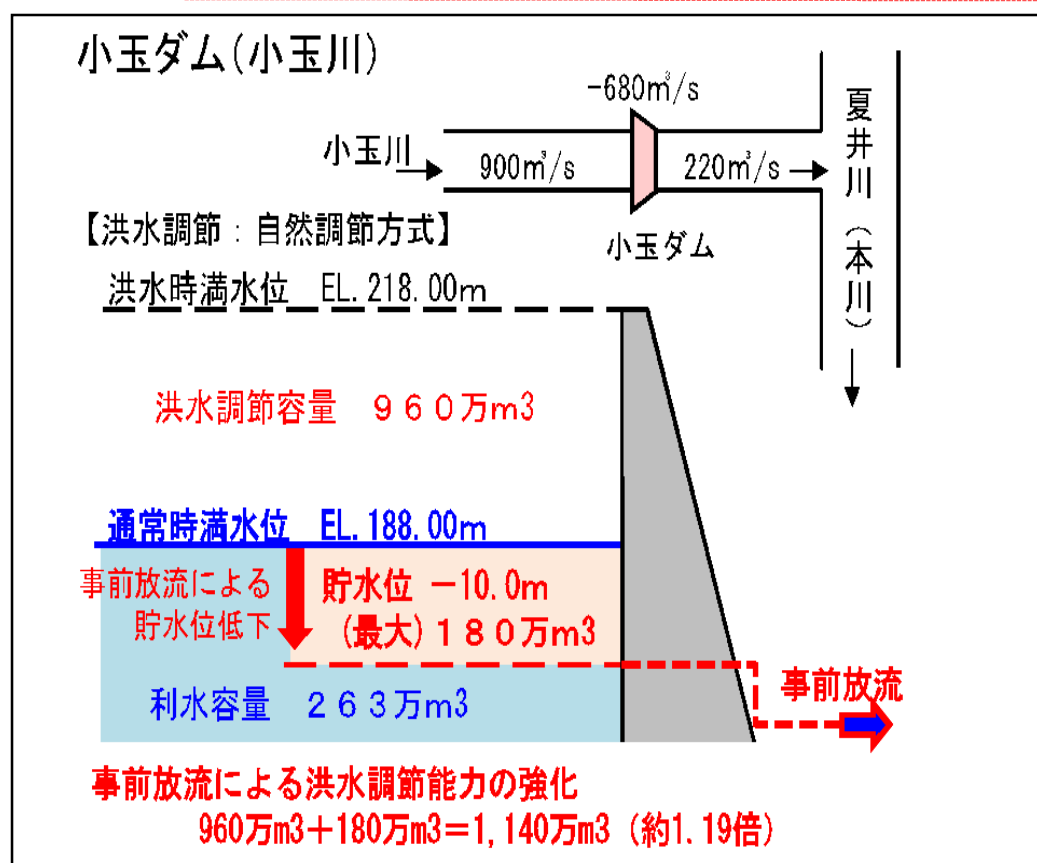
取組内容

概 要

二級河川夏井川水系の小玉ダムにおいて、台風等により大雨が予想される場合、事前放流を実施してダムの貯水位を低下させ、洪水調節のための容量を増量する「夏井川水系治水協定」をダム管理者と利水者の間で締結し、下流河川の氾濫や浸水被害の軽減を図るものです。

事前放流は、利水容量の一部を事前に放流し、ダムの貯水位を下げて、洪水調節のための容量として活用するものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 小玉ダムにおける洪水調節容量の増量

目 標

指 標

—

(協定締結済)

目標値 (令和 10 年度末まで)

—

夏井川水系

これまでの実績

事前放流の実績なし

今後の予定 (5 年程度)

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-83-2861

湯本川調節池の維持管理

取組内容

概 要

湯本川調節池の維持管理を適切に行い、調節池の機能を保持するものです。

対策のイメージ

実施状況



対策の効果

- ・ 湯本川調節池機能の保持

目 標

指 標

年 2 回の清掃・草刈

これまでの実績

実施期間

平成21年～

実施内容

年 2 回の湯本川調節池内の清掃・草刈

関係者

NPO 法人湯本川を愛する市民ネットワーク

いわき市

福島県いわき建設事務所

今後の予定（5年程度）

年 2 回の清掃・草刈

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6122

市準用河川等の河道掘削、伐木等の実施

取組内容

概 要

市が所管する準用河川及び普通河川の河道掘削や伐木を行い、治水機能の向上及び安全安心な住環境の整備を促進するもの。

対策のイメージ

【普通河川 常住川】



【普通河川 好間川】



対策の効果

- ・ 河道断面の確保による通水機能の向上

目 標

指 標

堆積土砂撤去量

(河床の堆積土砂が著しく、緊急かつ重点的に対策を推進する必要がある河川が対象)

目標値（令和 10 年度末まで）

56,808 m³

夏井川水系

これまでの実績

・原高野川 ・好間川 ・常住川 ・明神平川
・新田川 ・山王田川 ・門八川 ・古川

今後の予定（5 年程度）

・好間川 ・新田川 ・永久保川 ・門八川
・向川 ・三夜川 ・古川 ・桧川
・下田川 ・小白井川 ・原高野川 ・中妻川
・常住川 ・山王田川 ・明神平川

鮫川水系

これまでの実績

・赤仁田川

今後の予定（5 年程度）

・間明沢川 ・山田川 ・中山川 ・別当川
・赤仁田川 ・天ノ川 ・小湊川 ・成沢川
・清道川 ・大柴沢

藤原川水系

これまでの実績

・金成川 ・宝珠院川 ・青葉川

今後の予定（5 年程度）

・金成川 ・宝珠院川 ・三田川
・横手川 ・青葉川

問合せ先

いわき市土木部維持保全課 TEL 0246-22-7495

河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概 要

河積を阻害する河道内の堆砂除去及び支障木の伐採を行い、河川の流下能力を確保し越水氾濫の防止を図るものです。

対策のイメージ

【二級河川 新川】

施工前



竣 工



【二級河川 宮川】

施工前



竣 工



対策の効果

- ・ 河積阻害物の除去による流下能力の確保

目 標

指 標

河積障害物の除去

(河道内の堆積土砂が著しく、流水が阻害されている箇所を対象)

夏井川・藤原水系

これまでの実績

令和3年度

【工事】 赤沼川外 18箇所

【委託】 湯本川外 3箇所

令和4年度

【工事】 茨原川外 16箇所

【委託】 赤沼川外 5箇所

令和5年度

【工事】 夏井川外 9箇所

【委託】 宮 川外 5箇所

令和6年度

【工事】 仁井田川外 10箇所

【委託】 矢田川外 8箇所

今後の予定（5年程度）

令和7年度

【工事】 仁井田川外 12箇所

【委託】 藤原川外 14箇所

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6122

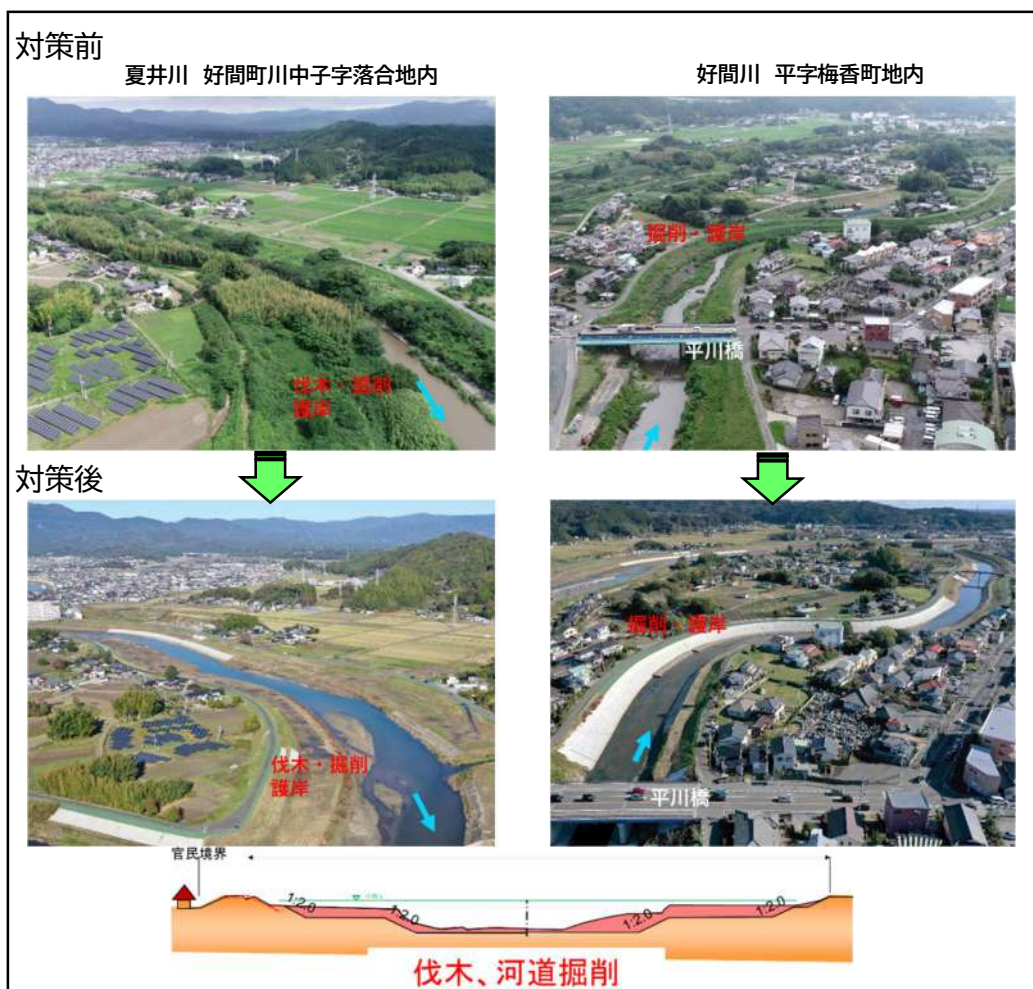
河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概要

夏井川・好間川では令和元年東日本台風の影響により堤防が破堤し広範囲に渡り甚大な被害が発生したため、災害復旧と併せて大規模な河川改良を行い、再度災害防止を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 流下能力の向上
- ・ 堤防の強化

目 標

指 標

夏井川、好間川災害復旧助成事業による河川断面の確保

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 夏井川L=14.9km 好間川 L=6.6km

夏井川水系

これまでの実績

夏井川L=6.3km
好間川L=1.2km

今後の予定（5年程度）

夏井川L=8.6km
好間川 L=5.4km

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-35-6048

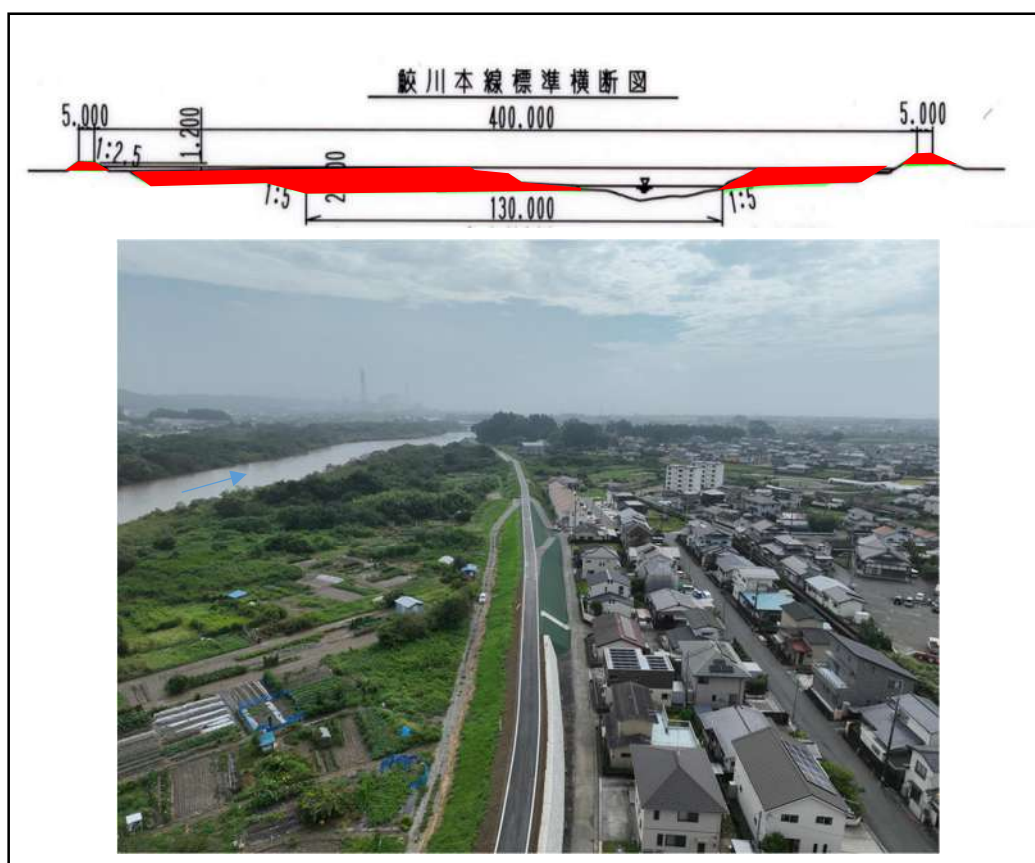
河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概 要

鮫川の築堤、河道掘削、伐木を実施することにより流下能力を高め、治水安全度の向上を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 流下能力の向上

目 標

指 標

河川改修事業の完了

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 L=3,000m

鮫川水系

これまでの実績

右岸 L=1,400m
左岸 L= 400m

今後の予定（5 年程度）

右岸 L=1,600m
左岸 L=2,600m

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概 要

中田川のバイパス河川整備(築堤、河道掘削)により流下能力を高め、治水安全度の向上を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 流下能力の向上

目 標

指 標

河川改修事業の完了

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 L=1,900m

鮫川水系

これまでの実績

築堤掘削工 L=790m

今後の予定（5 年程度）

築堤掘削工 L=1,110m

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概 要

藤原川の堤防浸食の恐れがある箇所において護岸工を実施するものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 護岸工により堤防浸食を防止し、背後の住宅地を保全

目 標

指 標

事業の完了

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 L=77.3m

夏井川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

R4 事業完了

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

河川改修、河道掘削、伐木等工事の実施

取組内容

概 要

河積を阻害する河道内の堆砂除去及び支障木の伐採を行い、河川の流下能力を確保し越水氾濫の防止を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 河積阻害物の除去による流下能力の確保

目 標

指 標

河積障害物の除去

(河道内の堆積土砂が著しく、流水が阻害されている箇所を対象)

鮫川水系

これまでの実績

令和3年度

鮫川外 3箇所

令和4年度

天神川外 3箇所

令和5年度

四時川外 3箇所

令和6年度

鮫川外 3箇所

今後の予定（5年程度）

令和 7 年度以降

鮫川外 10 箇所

問合せ先

福島県勿来土木事務所業務課 TEL 0246-63-2131

砂防堰堤の整備

取組内容

概 要

砂防堰堤の整備により土砂災害の防止を図るとともに、河道への流出土砂の低減により河積を安定させることにより、氾濫をできるだけ防ぐものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 河道への流出土砂の低減による河積の安定

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

入山沢砂防堰堤完了(R4)

今後の予定（5 年程度）

沼尻沢砂防堰堤

鮫川水系

これまでの実績

R5、R6 実績なし

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

R5、R6 実績なし

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6128

農業水利施設の改修

取組内容

概 要

頻発化、激甚化する豪雨等の災害に対応するため、「市国土強靱化地域計画」を踏まえ、農業水利施設(排水機場、用排水路、ため池等)の改修等を実施するものです。

対策のイメージ



施工前

しゅん工



対策の効果

- ・ 豪雨による冠水などの災害リスクの低減

目 標

指 標

整備箇所数、整備延長

目標値（令和 10 年度末まで）

126 箇所 3,643m

夏井川水系

これまでの実績

76箇所 2,134m

今後の予定（5 年程度）

95箇所 2,668m

鮫川水系

これまでの実績

8 箇所 320m

今後の予定（5 年程度）

10 箇所 400m

藤原川水系

これまでの実績

17 箇所 460m

今後の予定（5 年程度）

21 箇所 575m

問合せ先

いわき市農林水産部農林土木課 TEL 0246-22-7472

治水安全度向上のための橋梁の撤去・改修

取組内容

概要

新川・宮川では令和 5 年 9 月の台風 13 号の影響により線状降水帯が発生しました。

この雨により橋りょうの橋脚や高欄に流木等が引っ掛かり、河積阻害が発生し氾濫を助長したため、影響のある橋りょうについては、治水安全度向上のため撤去・改修するものです。

対策のイメージ

宮川では新川合流点から上流約 3.0km の間に橋りょうが 25 橋あり、うち管理者不明橋が 10 橋あるため、沿川住民の理解を得ながら順次撤去します。

【二級河川 宮川】



対策の効果

河道断面の確保により治水安全度が向上

目 標

指 標

橋りょう数

(橋梁の撤去、改修については現在調整中)

目標値 (令和 10 年度末まで)

調整のついた管理者不明橋の撤去 4 橋(1 橋は橋脚のみ)

夏井川水系

これまでの実績

管理者不明橋の撤去 4 橋

今後の予定 (5 年程度)

残る6橋の撤去は、福島県、市及び地元住民等と、河川改修にあわせ調整していく。

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定 (5 年程度)

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定 (5 年程度)

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課

TEL 0246-24-6122

治水安全度向上のための河川内占用物の撤去・移設

取組内容

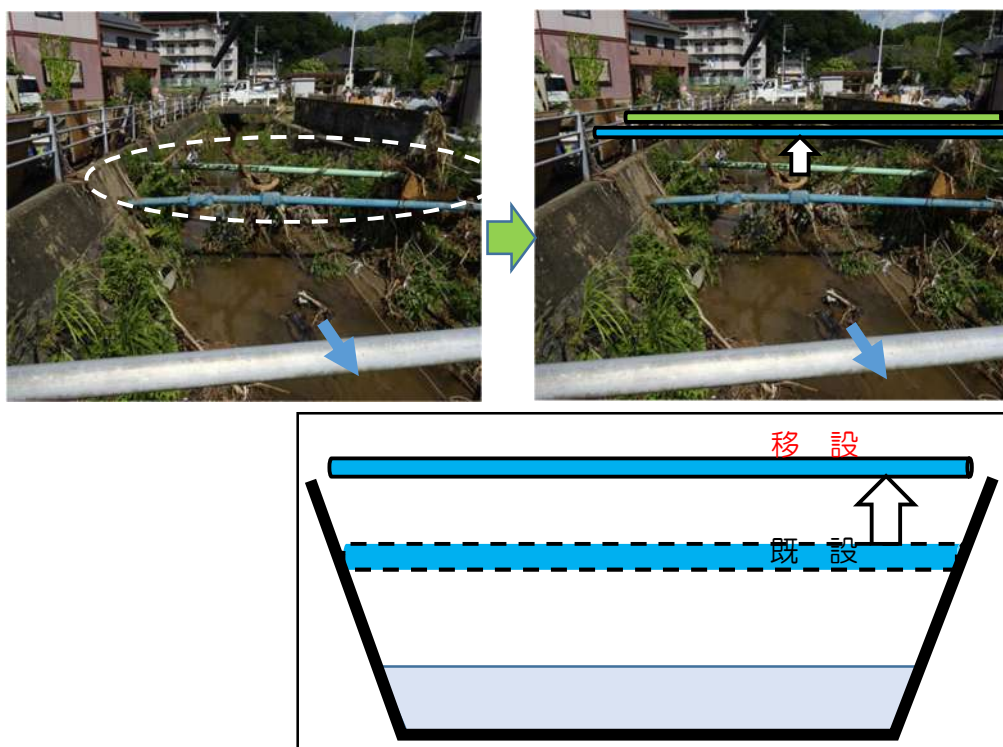
概要

新川・宮川では令和5年9月の台風13号の雨の影響により水道管やガス管などの河川占用物に流木等が引っ掛かり、河積阻害が発生し氾濫を助長したため、影響のある河川内占用物については、治水安全度向上のため撤去・移設するものです。

対策のイメージ

新川・宮川では、通水の阻害とならないように施設管理者等と移設に向け協力を求めながら早期解消に向けて調整を図っていきます。

【普通河川 竹之内沢】



対策の効果

河道断面の確保により治水安全度が向上

目 標

指 標

河川内横断占用構造物のうち通水阻害になっている管数

目標値（令和 10 年度末まで）

現在調査中

夏井川水系

これまでの実績

0本

今後の予定（5 年程度）

現在調査中

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課

TEL 0246-24-6122

治水安全度向上のための河川内占用物の撤去・移設

取組内容

概 要

市が所管する準用河川及び普通河川において、通水に支障となる河川工作物に関し、所有者に対し、通水機能が向上する構造への改築や撤去などの指導を行うものです。

対策のイメージ

- ・通水に支障となる河川工作物の把握(所有者の把握を含む)
- ・所有者に対し、河川工作物の改築や撤去などを指導

【イメージ図】



対策の効果

- ・河道断面の確保による通水機能の向上

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

市内の全準用河川における未許可工作物(橋梁)
の調査を行った。

今後の予定（5 年程度）

未許可工作物(橋梁)の各管理者に対し申請
書の提出や撤去の指導を実施。

※いわき市内全域を対象

問合せ先

いわき市土木部維持保全課 用地管理担当 TEL 0246-22-7494

橋梁部における浸水対策

取組内容

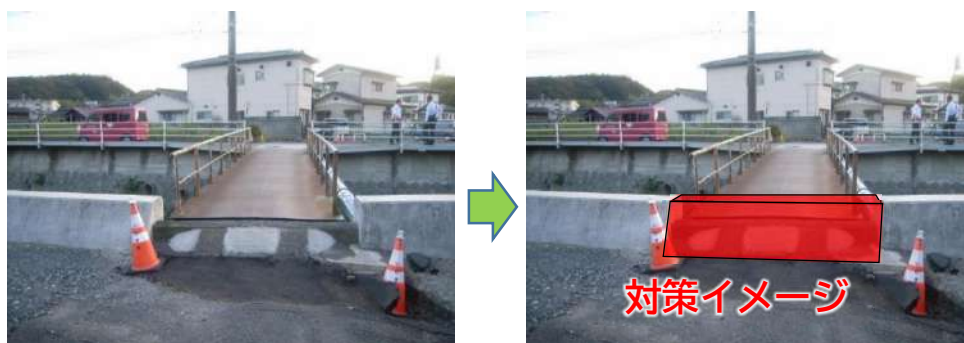
概 要

宮川のパラペット整備区間の橋梁部分が中抜けしている区間において、堰板等を設置することで、増水時の越水を防ぐものです。

対策のイメージ

管理者不明橋の撤去を行った箇所を優先して、パラペットを設けることにより増水時の越水に対応します。

【二級河川 宮川】



対策の効果

パラペット整備区間の中抜けが解消でき、増水時の越水を防ぐことができる。

目 標

指 標

パラペット整備区間の橋梁箇所数・・・管理者不明橋 1橋
(県対応箇所のみ)

目標値（令和 10 年度末まで）

1 箇所

夏井川水系

これまでの実績

1 箇所

今後の予定（5 年程度）

0 箇所

鮫川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6122

橋梁部における浸水対策

取組内容

概 要

河川氾濫による浸水被害が発生する内郷地区について、河川堤防の嵩上げに合わせた既設橋梁出入口周辺部の改修等により、対策強化を図るものです。

対策のイメージ

河川堤防の中抜け部である橋梁出入口部の嵩上げ及び周辺のスロープ設置などの摺り付けを行います。



対策の効果

外水氾濫時の浸水被害の軽減。

目 標

指 標

橋梁部改修箇所

(新川・宮川の河川堤防嵩上げ区間のうち、橋梁が架かる堤防中抜け箇所が対象)

目標値 (令和 10 年度末まで)

未 定 (新川・宮川浸水対策の今後の進捗状況や地域意向等も踏まえ適宜実施)

夏井川水系

これまでの実績

なし

今後の予定 (5 年程度)

未定

鮫川水系

これまでの実績

なし

今後の予定 (5 年程度)

なし

藤原川水系

これまでの実績

なし

今後の予定 (5 年程度)

なし

問合せ先

いわき市土木部維持保全課

TEL 0246-22-7495

堤防機能強化(堤防天端舗装)

取組内容

概 要

市が所管する準用河川及び普通河川の河川改修を行い、治水機能の向上及び安全安心な住環境の整備を促進するものです。

対策のイメージ

【準用河川 新田川】



<施工前>



<竣 工>

【普通河川 〇〇川】



<施工前>



<竣 工>

対策の効果

- ・ 堤防の強化

目 標

指 標

緊急重点河川改修延長

(緊急かつ重点的に護岸整備等の改良等を必要とする河川が対象。事業期間 R4 年度～)

目標値 (令和 10 年度末まで)

10,200m

夏井川水系

これまでの実績

・山王田川 ・赤沼川 ・三夜川 ・新田川
 ・菅波川 ・永久保川 ・下田川 ・火沢川
 ・古事又川 ・綱木川 ・明神平川 ・金坂川
 ・鹿又川 ・片倉川 ・高畑川 ・熊野川
 ・渡戸川 ・戸渡川 ・中妻川 ・浦沢川

今後の予定 (5 年程度)

・山王田川 ・赤沼川 ・新田川 ・下田川
 ・明神平川 ・中妻川

鮫川水系

これまでの実績

・窪根川 ・平草川 ・唐沢川 ・中山川
 ・国分川 ・中堀川

今後の予定 (5 年程度)

・平草川 ・中山川 ・国分川 ・天神川
 ・天ノ川 ・女ノ沢川 ・窪根川

藤原川水系

これまでの実績

・紅葉川 ・金成川 ・青葉川 ・矢田川

今後の予定 (5 年程度)

・紅葉川 ・金成川 ・宝珠院川 ・本谷川

問合せ先

いわき市土木部建設事業課 TEL 0246-22-7491

堤防機能強化（堤防天端舗装）

取組内容

概 要

出水等による河川堤防天端からの越水での破堤を防止するため、堤防天端を舗装し粘り強い構造へ補強を行うものです。

対策のイメージ

【二級河川 茨原川】

施工予定



施工予定



【二級河川 藤原川】

施工前



竣 工



対策の効果

- ・ 堤防補強工事による堤防の強化

目 標

指 標

堤防天端補強延長

(築堤構造の堤防を優先的に整備し、市街化区域を重点的に実施する。)

夏井川水系・藤原川水系

これまでの実績

令和3年度	仁井田川 外	11箇所
令和4年度	藤 原 川 外	3箇所
令和5年度	茨 原 川 外	4箇所
令和6年度	藤 原 川 外	6箇所

今後の予定（5年程度）

令和 7 年度以降	仁井田川外	15箇所
-----------	-------	------

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 Tel 0246-24-6122

堤防機能強化（堤防天端舗装）

取組内容

概 要

夏井川・好間川災害復旧助成事業において、築堤・河道掘削の他に堤防天端舗装および破堤した箇所は裏法護岸により堤防を強化し再度災害の防止を図るものです。

対策のイメージ

堤防天端舗装の施工状況



裏法護岸の施工状況



対策の効果

- ・ 越水時の浸食に対する堤防の強化
- ・ 破堤しにくい構造となり、避難時の移動時間の確保に寄与

目 標

指 標

夏井川、好間川災害復旧助成事業による計画箇所での堤防天端舗装の実施

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 夏井川L=14.9km 好間川 L=6.6km

夏井川水系

これまでの実績

夏井川L=6.3km
好間川L=1.2km

今後の予定（5年程度）

夏井川L=8.6km
好間川 L=5.4km

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-35-6048

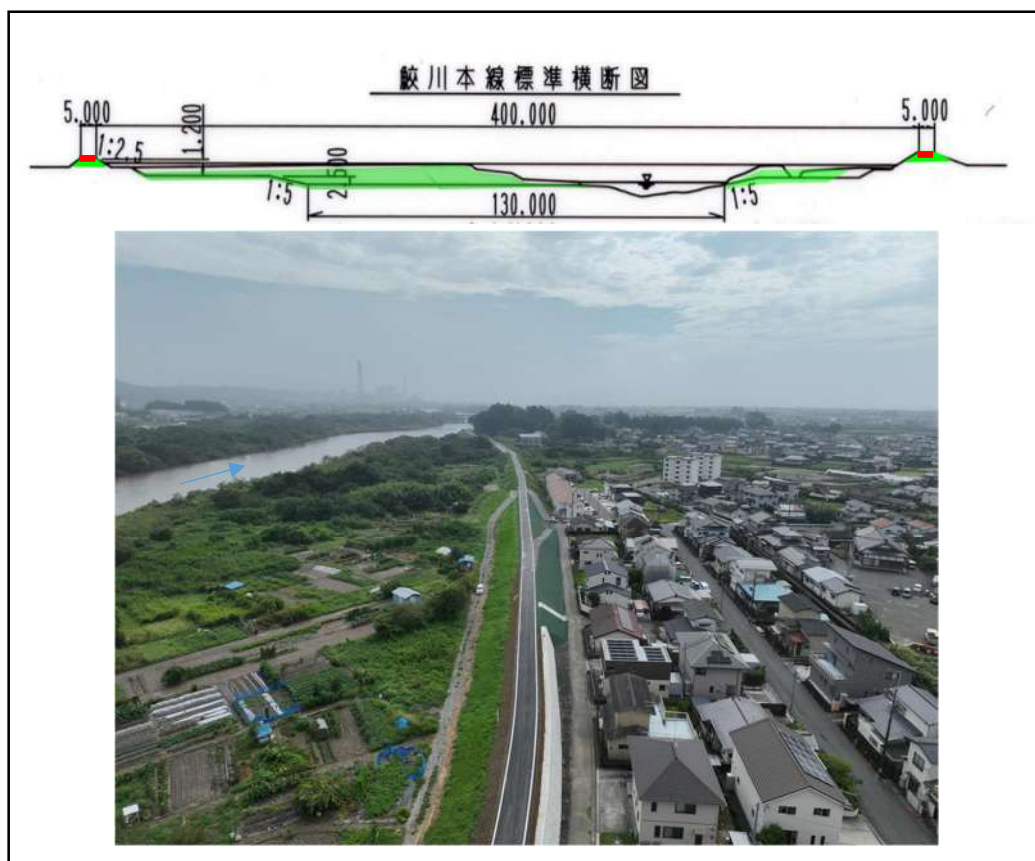
堤防機能強化（堤防天端舗装等）

取組内容

概 要

鮫川の河川改修事業において、築堤に併せて堤防天端舗装を実施し、堤防の強化を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 越水時の浸食に対する堤防の強化
- ・ 破堤しにくい構造となり、避難時の移動時間の確保に寄与

目 標

指 標

堤防舗装の完了

目標値（令和 10 末まで）

事業延長 L=3,000m

鮫川水系

これまでの実績

右岸 L=1,400m
左岸 L= 400m

今後の予定（5年程度）

右岸 L=1,600m
左岸 L=2,600m

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

堤防機能強化（堤防天端舗装等）

取組内容

概 要

中田川のバイパス河川整備（築堤、河道掘削）に併せて、堤防天端舗装を実施し堤防の強化を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 越水時の浸食に対する堤防の強化
- ・ 破堤しにくい構造となり、避難時の移動時間の確保に寄与

目 標

指 標

改修事業の完了

目標値（令和 10 年度末まで）

事業延長 L=1,900m

鮫川水系

これまでの実績

築堤掘削工 L=790m

今後の予定（5 年程度）

掘削築堤工 L=1,110m

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

堤防機能強化（堤防天端舗装等）

取組内容

概 要

出水等による河川堤防天端からの越水での破堤を防止するため、堤防天端を舗装し粘り強い構造へ補強を行うものです。

対策のイメージ

【二級河川鮫川水系 蛭田川(勿来町白米地内)】



【二級河川鮫川水系 江畑川(江畑町塙地内)】



対策の効果

- ・ 水災害に対して粘り強い構造
- ・ 歩行者、自転車等の利便性の向上
- ・ 河川巡視の円滑化

目 標

堤防天端補強延長

(築堤構造の堤防を優先的に整備し、市街化区域を重点的に実施する。)

鮫川水系

これまでの実績

令和3年度 渋川外 6箇所
令和4年度 天神川外 3箇所
令和5年度 山田川外 4箇所
令和6年度 江畑川外 2箇所

今後の予定（5年程度）

令和7年度以降 上遠野川外 5箇所

問合せ先

福島県勿来土木事務所業務課 TEL 0246-63-2131

水門工

取組内容

概 要

仁井田川の夏井川合流部に水門を設置し、仁井田川への逆流の防止、津波遡上の防止により仁井田川の治水安全度の向上を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 仁井田川への逆流の防止、津波遡上の防止
- ・ 夏井川河口部砂州の抑制

目 標

指 標

水門工の完成

目標値（令和 10 年度末まで）

水門工の完成

夏井川水系

これまでの実績

水門門柱工の完了
水門設備工（扉体据付工、開閉装置据付工）の完了
水門管理橋架設の完了
水門水叩工（上流水叩）の完了

今後の予定（5 年程度）

水門工の完成

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

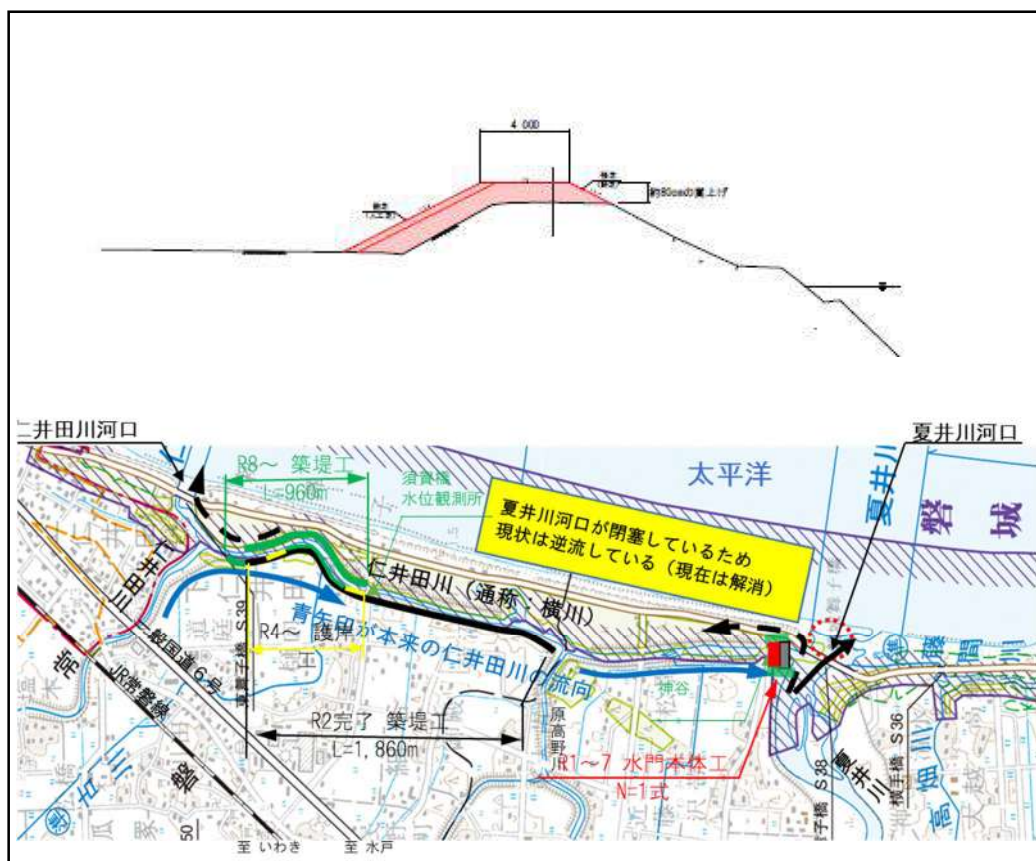
築堤工、堤防天端舗装工

取組内容

概要

仁井田川の築堤工、堤防天端舗装を施工し、流下能力を向上させるとともに越水時の浸食に対する堤防の強化により再度災害の防止を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 流下能力の向上
- ・ 越水時の浸食に対する堤防の強化
- ・ 破堤しにくい構造となり、避難時の移動時間の確保に寄与

目 標

指 標

築堤工、堤防天端舗装の完成

目標値（令和 10 年度末まで）

施工延長 L=2,000m

夏井川水系

これまでの実績

右岸 L=1,860m

今後の予定（5 年程度）

右岸 L=140m
左岸 L=820m

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6127

立地適正化計画の改定

取組内容

概要

ネットワーク型コンパクトシティ形成を目指す立地適正化計画への防災指針策定の義務化(令和2年9月改正)を受け、災害リスクの分析・評価を行い、防災指針を追加するものです。

当該指針を追加し、指針に基づく各種施策を講じることで、出来る限り、誘導区域内の安全確保対策(災害リスクの回避・提言)を図っていくものです。

対策のイメージ

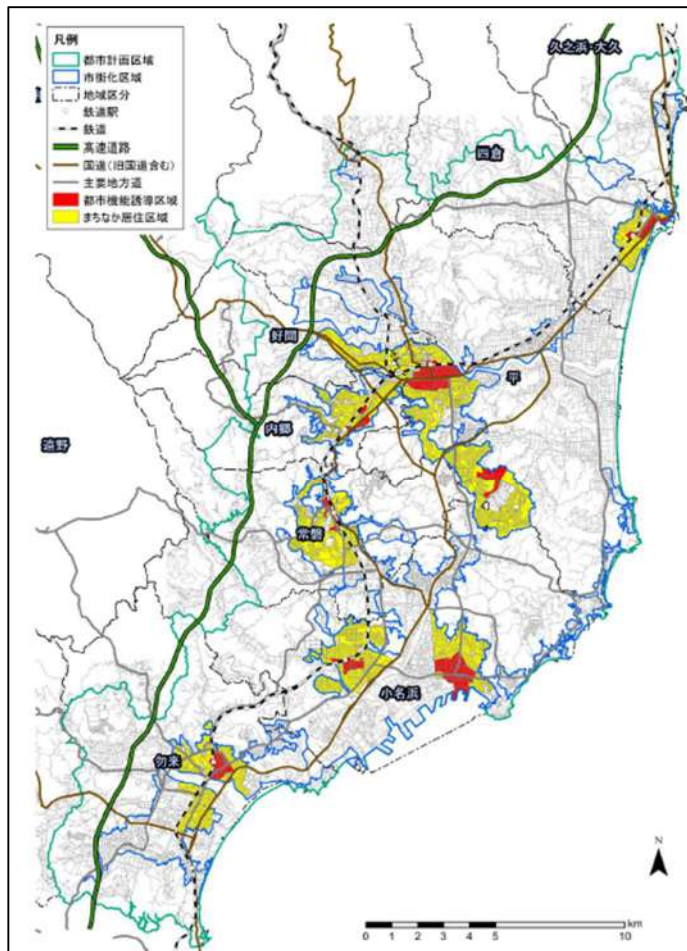


図 立地適正化計画誘導区域図

取組方針と対策の分類
災害リスクの回避の対策 ・災害時に被害が発生しないようにする(回避する)ための取組
災害リスクの低減の対策(ハード) ※対策の程度によっては災害が防止される場合も想定される ・雨水貯留施設の整備、(市町村管理の)河川や下水道の整備等による浸水対策や土砂災害防止のための砂防施設の整備等
災害リスクの低減の対策(ソフト) ・氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害軽減、早期の復旧・復興のための対策

図 防災指針に基づく取組方針と対策の分類の例
(出典：国土交通省)

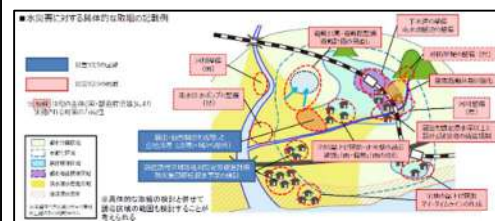


図 防災指針に基づく具体的なハード・ソフト取り組みの例
(出典：国土交通省)

対策の効果

- ・ まちなか居住区域及び都市機能誘導区域内の都市防災の確保。

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

立地適正化計画の改定(防災指針の追加)

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

災害リスクの分析・評価、市民・企業への意向調査、地区ごとの課題に対する取組方針等を取りまとめた。
また、市流域治水アクションプランや防災部局の取り組みと調整を図り、防災指針の素案を作成した。

今後の予定（5 年程度）

防災指針の素案に対する市民意見募集(パブリックコメント)を実施し、市民の意見を踏まえた防災指針の案を作成する。
作成した案については、市都市計画審議会への諮問を行い、その結果を踏まえ、防災指針を策定する。

問合せ先

いわき市都市建設部都市計画課

TEL 0246-22-7511

一定規模以上の開発行為に対して雨水貯留施設の 施設管理者との協議を義務付け

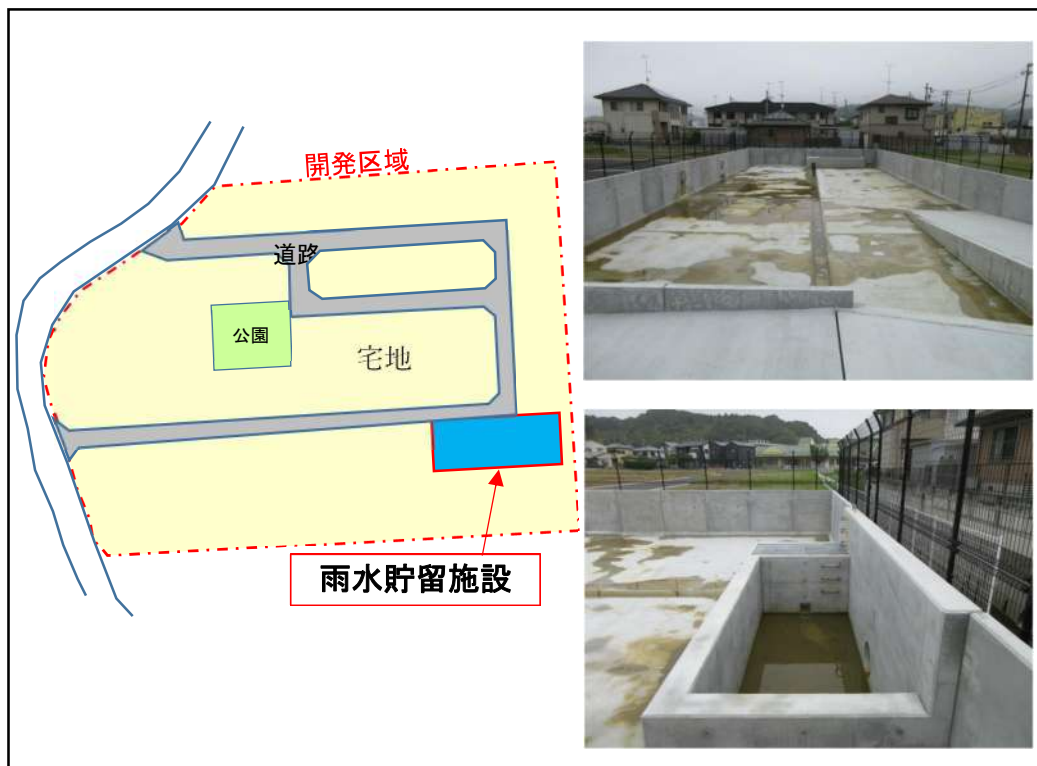
取組内容

概 要

宅地造成に伴う雨水流出量の増加により、周辺の溢水による被害が生じないよう、開発行為を行う事業者に対し、流量調節機能をもった雨水貯留施設の設置の必要性について、都市計画法に基づいて雨水の排出先やその下流の施設管理者との協議を義務付けているものです。

対策のイメージ

施設管理者との協議の結果、雨水貯留施設の設置が必要となった場合のイメージです。



対策の効果

- ・ 開発行為に伴う周辺の溢水等による被害の防止・軽減

目 標

指 標

—（無）

目標値（令和 10 年度末まで）

—（無）

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

雨水貯留施設協議実績

- ・福島県復興公営住宅【管理者：福島県土木部建築住宅課】
（四倉町：H27、泉町：H27、好間町：H28、勿来町：H29）
- ・いわき市災害公営住宅【管理者：いわき市土木部住宅営繕課】
（四倉町上仁井田：H24、平豊間：H24、永崎：H25）
- ・その他【管理者：いわき市土木部河川課】
久之浜町久之浜 地内（H27）宅地分譲
四倉町芳ノ沢 地内（H28）工業団地
四倉町上仁井田 地内（H30）宅地分譲
小名浜林城 地内（R1）宅地分譲

今後の予定（5 年程度）

—（無）

問合せ先

いわき市都市建設部建築指導課開発・盛土対策担当

TEL 0246-38-9058

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

本事業に係る申請がなかったため、実績なし。

今後の予定（5 年程度）

現時点では予定なし。
相談があれば適宜対応を行う。

問合せ先

いわき市都市建設部都市計画課

TEL 0246-22-7511

河川洪水ハザードマップの作成

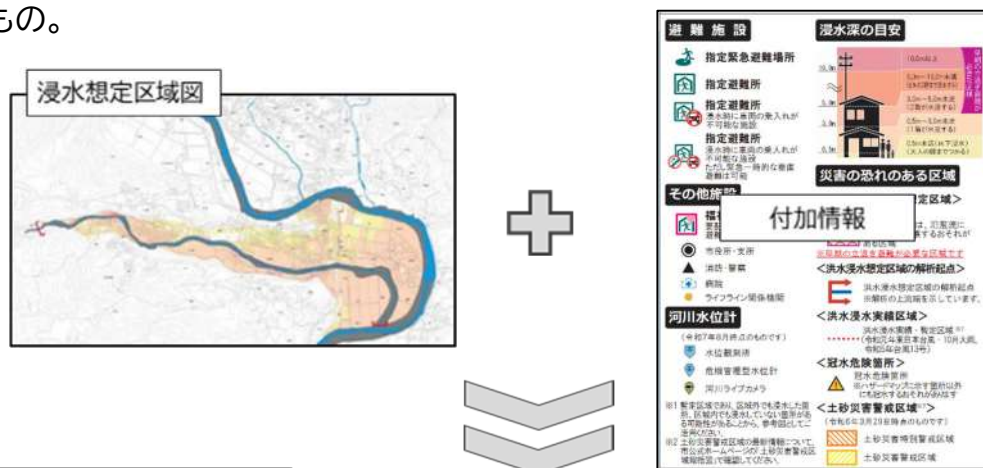
取組内容

概要

河川洪水ハザードマップは、河川が大雨により増水し、市内で堤防が破堤した場合の浸水予測結果に基づき、浸水の範囲や深さ、並びに各地区の避難可能な施設等を示した地図を作成して住民等に周知するもの。

対策のイメージ

河川洪水ハザードマップは、河川管理者が指定した「洪水浸水想定区域図」に避難場所、公共施設及び災害の心得などの「付加情報」を具体的に図面に示したもの。



河川洪水ハザードマップ



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 浸水に関する情報を共有し、自助・共助の取組を推進

目 標

指 標

洪水ハザードマップを作成する河川数
(洪水浸水想定区域を指定する河川が対象)

目標値（令和 10 年度末まで）

51 河川 [市内全体 65 河川]
(夏井川水系20河川、鮫川水系18河川、藤原川水系13河川、その他水系 14 河川)

夏井川水系

これまでの実績

13 河川
夏井川・好間川・新川・小玉川・仁井田川・原高野川・
赤沼川・袖玉山川・高倉川・三夜川・白岩川・宮川・高野川

今後の予定（5年程度）

7 河川
真似井川・茨原川・常住川・相川・荒神川・鹿又川・
三坂川

鮫川水系

これまでの実績

10 河川
鮫川・四時川・山田川・余木田川・渋川・入遠野川・
上遠野川・荷路夫川・根本川・折松川

今後の予定（5年程度）

8 河川
江畑川・天神川・根小屋川・深山口川・大松川・
戸草川・中田川・旧中田川

藤原川水系

これまでの実績

9 河川
藤原川・矢田川・宝珠院川・釜戸川・湯本川・湯長谷川・
馬渡川・岩崎川・水野谷川

今後の予定（5年程度）

4 河川
蔵持川・三沢川・走熊川・死骨川

問合せ先

いわき市土木部土木政策課河川政策担当 TEL 0246-22-7492

浸水(内水)ハザードマップの作成

取組内容

概要

下水道などの排水施設の能力を超える大雨の発生により、雨水があふれて発生する浸水を想定し、浸水区域や浸水深さなど、浸水に備えるための情報について掲載したハザードマップの作成・公表を行うものです。

平成26年度から令和2年度にかけては、本市における既往最大降雨である1時間当たり91mmの降雨を対象としたハザードマップを作成し、世帯配布や市ホームページでの掲載等により公表を行っているところであるが、今後は、想定最大規模降雨である1時間当たり120mmの降雨を対象としたハザードマップの作成・公表を行うものです。

対策のイメージ

現在の浸水(内水)ハザードマップ(既往最大降雨 91mm/h)



新たな浸水(内水)ハザードマップ
(想定最大規模降雨 120mm/h)

対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 浸水に関する情報の共有及び自助・共助の取組みの促進

目 標

指 標

公表地区数
(公共下水道全体計画区域が対象)

目標値 (令和 10 年度末まで)

14地区

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

14 地区(既往最大降雨)

今後の予定 (5年程度)

14 地区(想定最大降雨)

No.	地 区
1	内郷地区
2	平地区①(平、平北白土)
3	平地区②(平中神谷、平塩、平鎌田、平泉崎、平下神谷)
4	小名浜・鹿島地区
5	常磐地区
6	泉地区
7	植田地区
8	勿来・錦地区
9	平地区③(平谷川瀬、平南白土、郷ヶ丘、中央台、若葉台)
10	小川・好間・赤井・平窪地区
11	四倉・久之浜地区
12	岩間・小浜地区
13	小名浜下神白・永崎・江名地区
14	平地区④(平豊間、平薄磯、平沼ノ内)

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室下水道事業課

TEL 0246-22-1195

農業用ため池ハザードマップ

取組内容

概要

ため池の下流に住宅や公共施設等が存在し、決壊時に被害が懸念される「防災重点農業用ため池」については、想定される浸水区域・浸水深、氾濫流の到達時間、避難所等を示した地図を作成して住民等に周知するものです。

対策のイメージ

農業用ため池ハザードマップは、ため池が満水の状態で決壊し、貯水が全て下流に流れ出す状況を想定した浸水シミュレーションの結果を図面にしたものです。

浸水想定区域図



ハザードマップの見方・使い方

ハザードマップの見方・使い方

ハザードマップに載っている情報

- ① 浸水の深さを示す浸水深の表示
浸水の深さを色で表しています。浸水の深さは、浸水の範囲によって異なります。
- ② 避難所
避難所は、浸水の範囲によって異なります。浸水の範囲によって、避難所の位置が異なります。
- ③ 避難経路
避難経路は、浸水の範囲によって異なります。浸水の範囲によって、避難経路の位置が異なります。

※浸水の範囲は、浸水の範囲によって異なります。浸水の範囲によって、避難所の位置が異なります。

※浸水の範囲は、浸水の範囲によって異なります。浸水の範囲によって、避難経路の位置が異なります。

ため池ハザードマップ



ため池ハザードマップの見方・使い方

ため池ハザードマップの見方・使い方

ハザードマップの作成目的

ハザードマップの作成目的は、浸水の範囲と浸水の深さを示すことです。浸水の範囲と浸水の深さを示すことで、浸水の範囲と浸水の深さを示すことができます。

ハザードマップの作成目的は、浸水の範囲と浸水の深さを示すことです。浸水の範囲と浸水の深さを示すことで、浸水の範囲と浸水の深さを示すことができます。

ハザードマップの作成目的は、浸水の範囲と浸水の深さを示すことです。浸水の範囲と浸水の深さを示すことで、浸水の範囲と浸水の深さを示すことができます。

対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ ため池の防災対策や災害時の被害軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

・古堤ため池 外 39 箇所

今後の予定（5 年程度）

—

鮫川水系

これまでの実績

・新山ため池 外 26 箇所

今後の予定（5 年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

・五安ため池 外 39 箇所

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

いわき市農林水産部農林土木課 TEL 0246-22-7472

防災マップの作成・配布

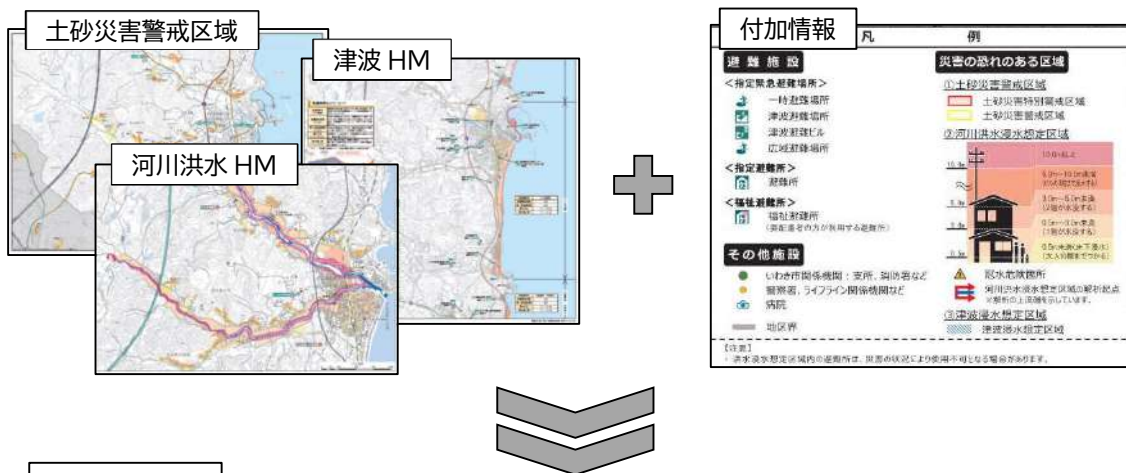
取組内容

概要

防災マップは、災害時の円滑な避難行動に資するため、災害の危険が及ぶことが想定される地域や避難所や避難場所の位置など災害に関する情報を示した地図を作成して住民等に周知するものです。

対策のイメージ

河川洪水、津波浸水、土砂災害警戒区域の災害情報や避難所や避難場所などの情報を地区ごとにまとめ、図面に示したものです。



防災マップ



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 災害リスクに関する情報を共有し、自助・共助の取組を推進

目 標

指 標

洪水ハザードマップを作成する河川数
(洪水浸水想定区域を指定する河川が対象)

目標値（令和 10 年度末まで）

51 河川 [市内全体 65 河川]
(夏井川水系20河川、鮫川水系18 河川、藤原川水系13河川、その他水系 14 河川)

夏井川水系

これまでの実績

13 河川
夏井川・好間川・新川・小玉川・仁井田川・原高野川・
赤沼川・袖玉山川・高倉川・三夜川・白岩川・宮川・高野川

今後の予定（5年程度）

7 河川
真似井川・茨原川・常住川・相川・荒神川・鹿又川・
三坂川

鮫川水系

これまでの実績

10 河川
鮫川・四時川・山田川・余木田川・渋川・入遠野川・
上遠野川・荷路夫川・根本川・折松川

今後の予定（5年程度）

8 河川
江畑川・天神川・根小屋川・深山口川・大松川・
戸草川・中田川・旧中田川

藤原川水系

これまでの実績

9 河川
藤原川・矢田川・宝珠院川・釜戸川・湯本川・湯長谷川・
馬渡川・岩崎川・水野谷川

今後の予定（5年程度）

4 河川
蔵持川・三沢川・走熊川・死骨川

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課 TEL 0246-22-1242

洪水浸水想定区域図の公表

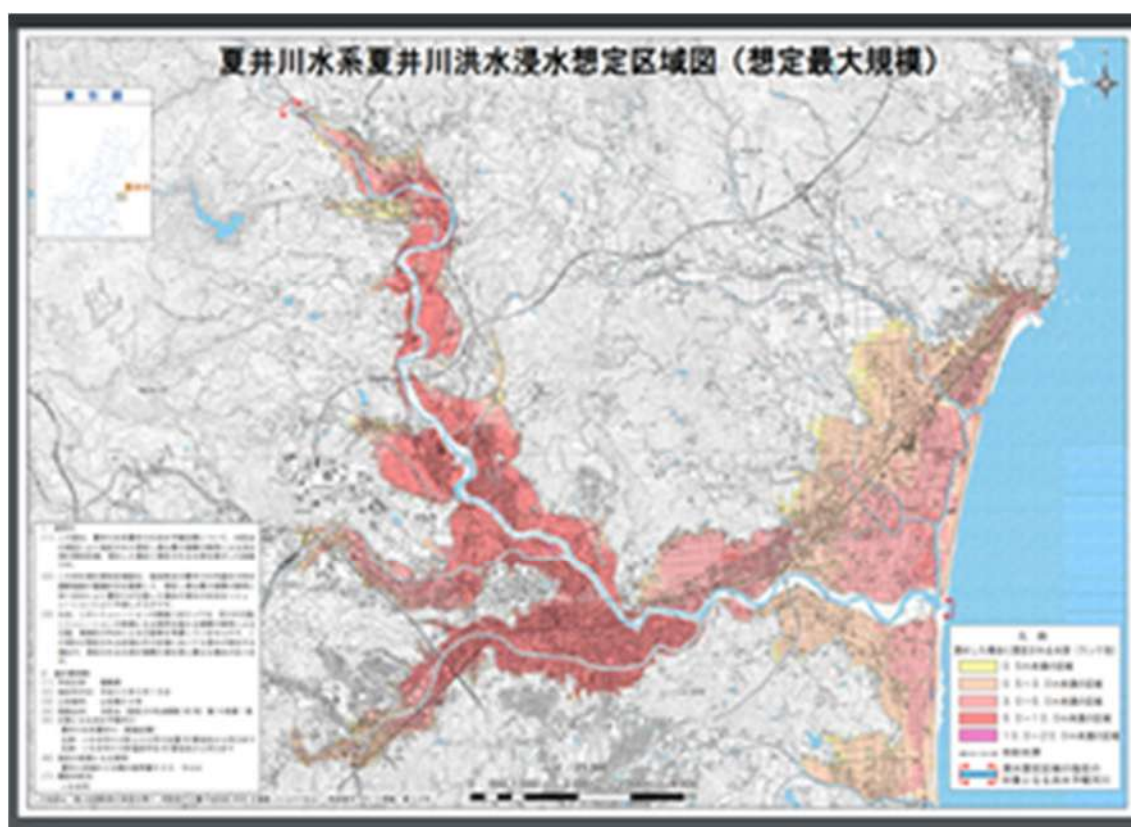
取組内容

概要

水防計画や市町村が作成する各種ハザードの基礎となる洪水浸水想定区域図を作成、公表するものです。

対策のイメージ

想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測し、浸水した場合に想定される範囲や水深を示したものを公表しています。



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 浸水に関する情報の共有

目 標

指 標

洪水浸水想定区域図を公表する河川数
(いわき市内の県管理河川)

目標値（令和 10 年度末まで）

51 河川 [市内全体 65 河川]
(夏井川水系20河川、鮫川水系18 河川、藤原川水系13河川、その他水系 14 河川)

夏井川水系

これまでの実績

20 河川
夏井川・好間川・新川・小玉川・仁井田川・原高野川・
赤沼川・袖玉山川・高倉川・三夜川・白岩川・宮川・
真似井川・高野川・茨原川・常住川・相川・荒神川・
鹿又川・三坂川

今後の予定（5 年程度）

鮫川水系

これまでの実績

18 河川
鮫川・四時川・山田川・余木田川・渋川・入遠野川・
上遠野川・荷路夫川・根本川・折松川・江畑川・天神川・
根小屋川・深山口川・大松川・戸草川・中田川・旧中田川

今後の予定（5 年程度）

藤原川水系

これまでの実績

13 河川
藤原川・矢田川・宝珠院川・釜戸川・湯本川・湯長谷川・
馬渡川・岩崎川・水野谷川・蔵持川・三沢川・走熊川・
死骨川

今後の予定（5 年程度）

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6120

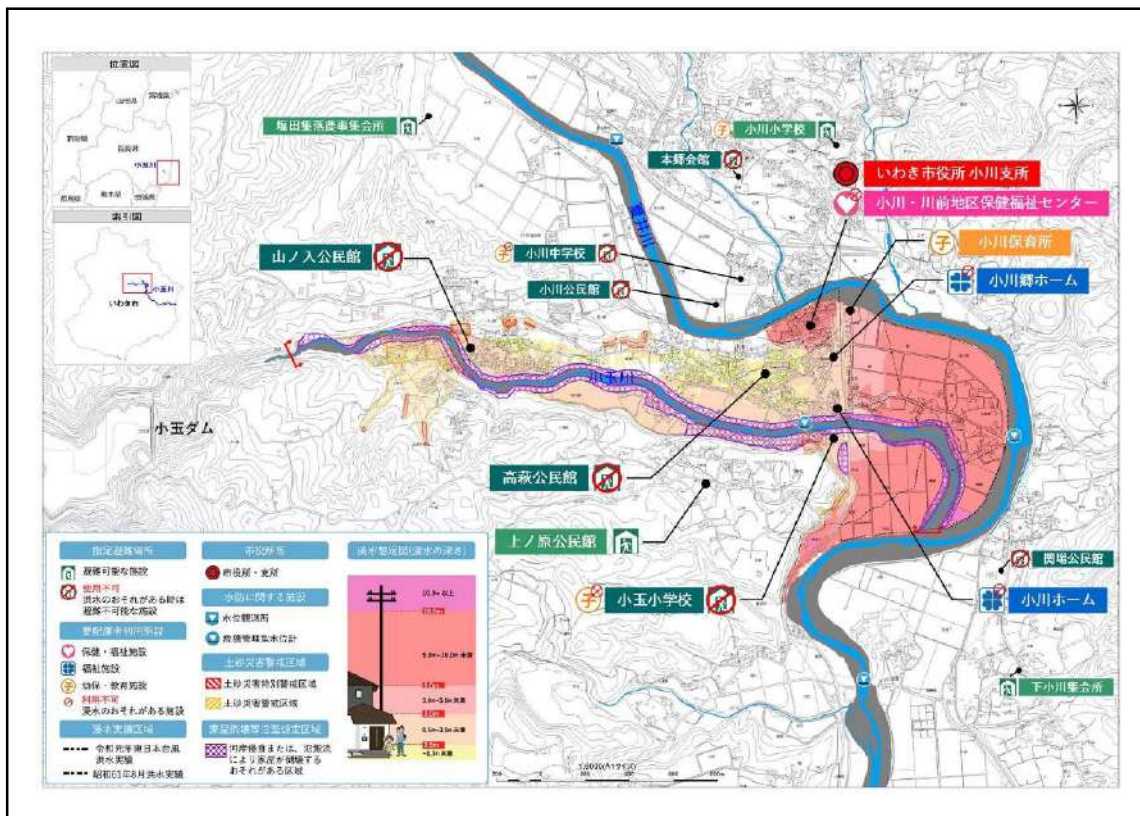
小玉ダム下流浸水想定図の作成

取組内容

概要

気候変動による異常豪雨の頻発化により、ダムの計画規模を超える異常洪水の発生を想定したダム下流の浸水想定図を作成して、ダム下流の住民へ公表している。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 平常時からの情報共有(ダムの機能とその限界)
- ・ 住民等の主体的な避難の促進

目 標

指 標

—

(作成済)

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

R4年2月8日公表

今後の予定（5年程度）

問合せ先 福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-83-2861

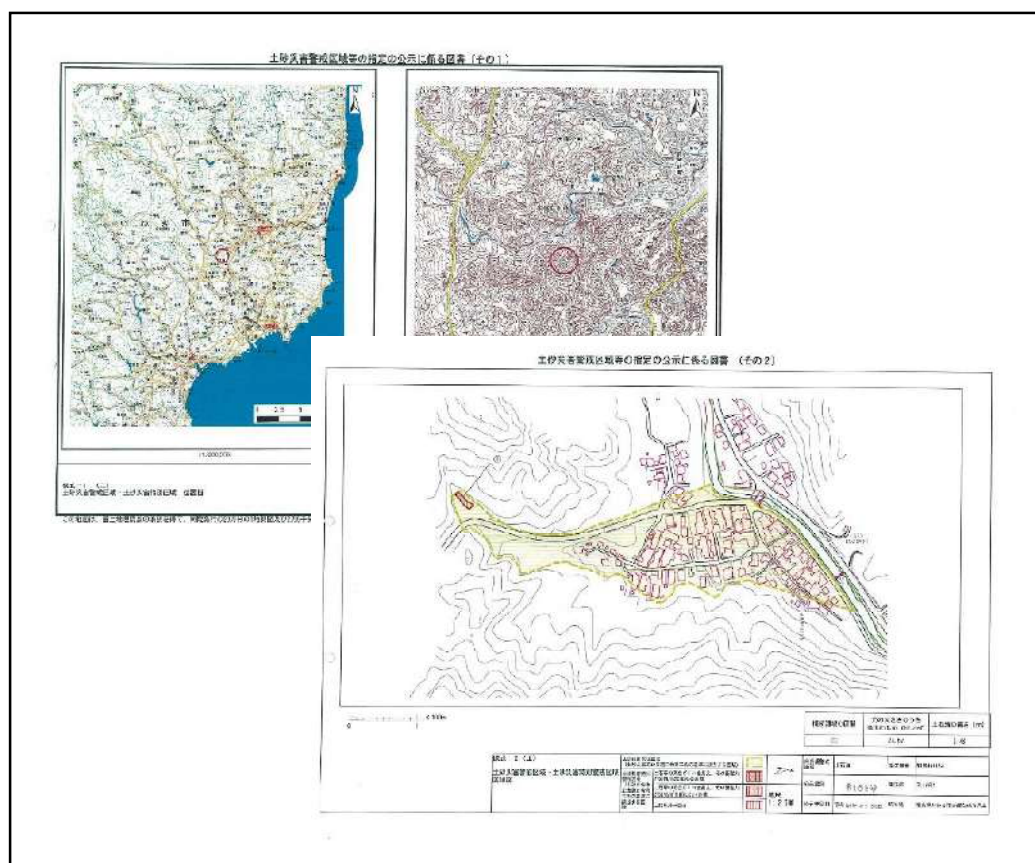
土砂災害警戒区域等の指定

取組内容

概要

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、土砂災害警戒区域等の指定を行うものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・土砂災害警戒区域の開発行為の制限
- ・防災意識の向上

目 標

指 標

土砂災害警戒区域の指定箇所数
(夏井川水系901箇所、鮫川水系389箇所、藤原川水系335箇所)

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

829 箇所指定(R6まで)

今後の予定（5年程度）

72 箇所(随時指定)

鮫川水系

これまでの実績

347箇所指定(R6まで)

今後の予定（5年程度）

42箇所(随時指定)

藤原川水系

これまでの実績

293箇所指定(R6まで)

今後の予定（5年程度）

42箇所(随時指定)

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6128

土砂災害警戒区域等の標識設置

取組内容

概 要

警戒避難体制の充実強化を図るため、土砂災害のおそれのある箇所を周知し、住民が常日頃からリスクを意識できるよう土砂災害警戒区域等を明示した標識を現地に設置するものです。

対策のイメージ



対策の効果

- ・ 土砂災害警戒区域等の周知
- ・ 防災意識の向上

目 標

指 標

土砂災害警戒区域等の標識設置数

(夏井川水系901箇所、鮫川水系389箇所、藤原川水系335箇所)

目標値(令和10年度末まで)

—

夏井川水系

これまでの実績

103箇所設置(R6まで)

今後の予定(5年程度)

798箇所(随時設置)

鮫川水系

これまでの実績

46箇所設置(R6まで)

今後の予定(5年程度)

343箇所(随時設置)

藤原川水系

これまでの実績

129箇所設置(R6まで)

今後の予定(5年程度)

206箇所(随時設置)

問合せ先

福島県いわき建設事務所事業部河川砂防課 TEL0246-24-6128

土砂災害警戒区域総括図の作成

取組内容

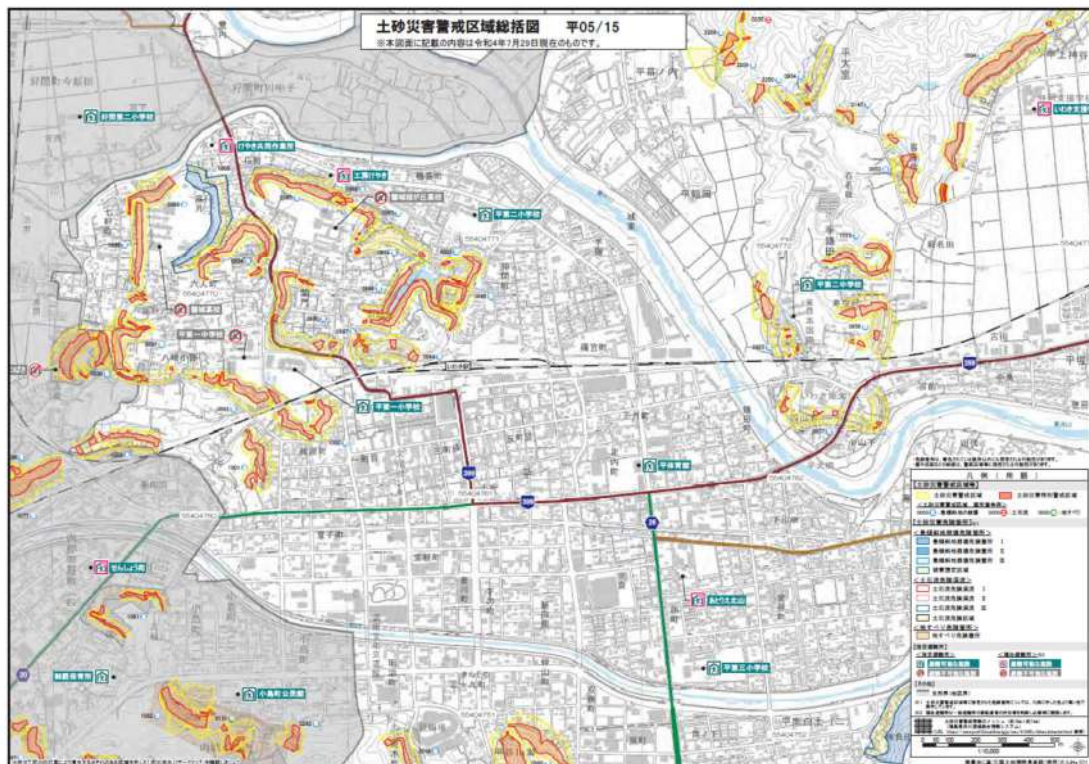
概要

土砂災害警戒区域総括図は、土砂災害時の円滑な避難行動に資するため、大雨や地震などによる土砂災害危険箇所や避難所・避難場所の位置などを示した地図を作成して住民等に周知するものです。

対策のイメージ

福島県が指定した「土砂災害警戒区域」等と避難所や避難場所などの情報を図面に示したものです。

土砂災害警戒区域総括図



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 災害リスクに関する情報を共有し、自助・共助の取組を推進

目 標

指 標

土砂災害警戒区域等の指定箇所数

目標値（令和 10 年度末まで）

1,628 箇所

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・土砂災害警戒区域に指定された 1,490 箇所を総括図に反映
（令和 6 年 3 月 29 日指定分まで）
- ・土砂災害特別警戒区域に指定された 1,367 箇所を総括図に反映
（令和 6 年 3 月 29 日指定分まで）

今後の予定（5 年程度）

指定された土砂災害警戒区域等の総括図の作成

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課

TEL 0246-22-1242

河川洪水ハザードマップ(3D化)の活用

取組内容

概 要

国土交通省が作成した河川洪水ハザードマップの3D データを防災出前講座等で活用することにより、防災意識の向上と水害リスク情報の更なる周知を図るものです。

対策のイメージ

防災出前講座において、河川洪水ハザードマップの3D データを活用して、浸水深がイメージできるように明示する。



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ あらゆる災害に関する情報を共有し、自助・共助の取組を推進

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系

これまでの実績

防災出前講座で活用

今後の予定（5 年程度）

防災出前講座で活用
有効な活用方法の検討

鮫川水系

これまでの実績

防災出前講座で活用

今後の予定（5 年程度）

防災出前講座で活用
有効な活用方法の検討

藤原川水系

これまでの実績

防災出前講座で活用

今後の予定（5 年程度）

防災出前講座で活用
有効な活用方法の検討

問合せ先

いわき市土木部土木政策課河川政策担当 TEL 0246-22-7492

危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラの設置

取組内容

概 要

浸水の危険が高くて確な避難判断のため、水位観測が必要箇所に洪水に特化した危機管理型水位計や簡易型監視カメラを設置するものです。

対策のイメージ

河川の水位や状況をインターネット「川の水位情報」で確認ができ川を見に行くことなく避難等の判断ができる。



対策の効果

- ・ 防災意識の向上、避難判断
- ・ インターネットで河川の水位や状況を確認できる

目 標

指 標

危機管理型水位計及び管理型監視カメラの設置
(いわき市内の県管理河川の必要な箇所)

目標値（令和 10 年度末まで）

危機管理型水位計 N=59 基（夏井川水系25基、藤原川水系13基、鮫川水系21基）

簡易型監視カメラ N=35 基（夏井川水系19基、藤原川水系 11 基、鮫川水系5基）

夏井川水系

これまでの実績

危機管理型水位計 N=25基
管理型監視カメラ N=19 基

今後の予定（5年程度）

鮫川水系

これまでの実績

危機管理型水位計 N=21基
管理型監視カメラ N=5基

今後の予定（5年程度）

—

藤原川水系

これまでの実績

危機管理型水位計 N=13基
管理型監視カメラ N=11 基

今後の予定（5年程度）

危機管理型水位計 N=1基

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6120

水防業務に係るシステム整備

取組内容

概要

水防業務(災害業務)において、迅速な災害体制の構築や適切な避難情報の発令、さらには、市の雨量情報を公開することにより、水害時における市民の適切な避難行動の支援を図るため、デジタル技術を活用するものです。

対策のイメージ

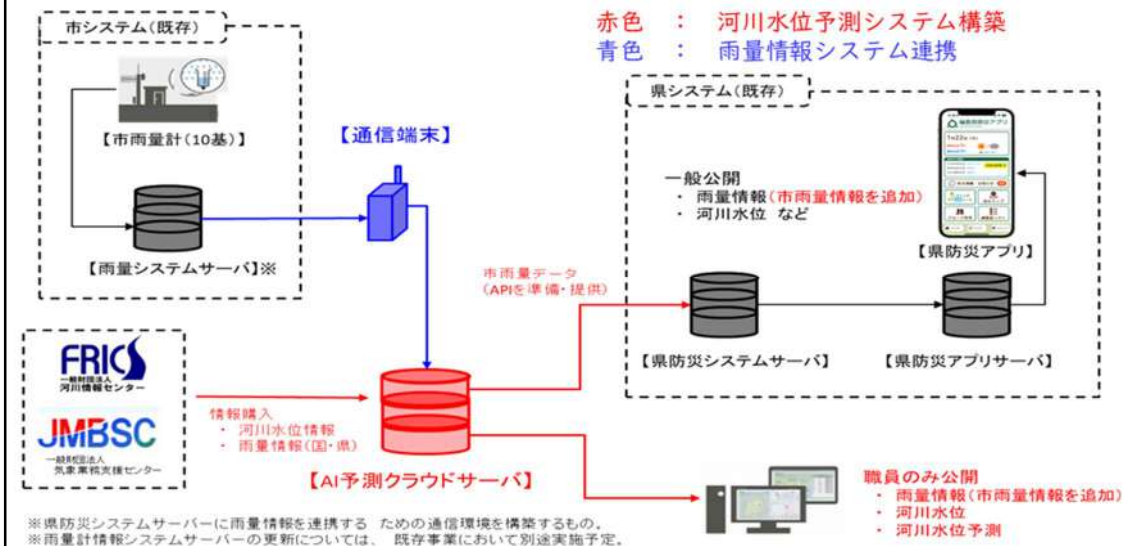
【河川水位予測システムの整備】

→ 河川水位と今後の雨量予測データを基に、数時間先の水位を予測する。
(職員のみが閲覧可能)

【雨量情報システムの連携】

→ 「福島県防災ポータル」において市雨量情報が閲覧可能となる。

【システム整備のイメージ】



対策の効果

- ・迅速な災害体制の構築や適切な避難情報の発令支援
- ・市民の適切な避難行動の支援

目 標

指 標

- ① 水位予測が可能となる水位計数
- ② 一般公開される雨量計数

目標値（令和 10 年度末まで）

- ① 86 基(対象流域外も含む)
- ② 10 基(対象流域外も含む)

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ① 0基
- ② 0基

今後の予定（5 年程度）

- ① 86 基(対象流域外も含む)
- ② 10 基(対象流域外も含む)

問合せ先

いわき土木部土木政策課河川政策担当 TEL 0246-22-7492

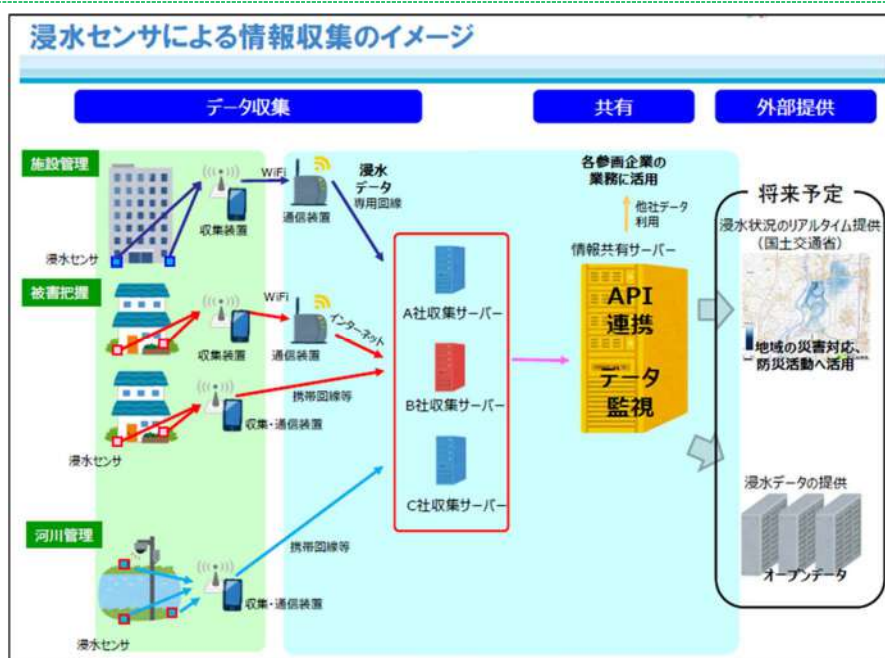
内水対策浸水センサの設置

取組内容

概要

近年、豪雨による甚大な浸水被害が多く発生しているため、道路の冠水や堤防の越水等による浸水を早期に把握し避難判断や避難場所、経路の確認等の情報として共有し地域住民の安心、安全を図るものです。

対策のイメージ



対策の効果

防災意識の向上、非常時における避難判断等の防災行動の向上。

目 標

指 標

浸水センサの設置数 15個(5箇所×3センサの設置)
(浸水が予想される箇所に設置)

目標値(令和10年度末まで)

15個(5箇所×3センサの設置)

夏井川水系

これまでの実績

令和7年度設置
9個(3箇所×3センサの設置)

今後の予定(5年程度)

—

鮫川水系

これまでの実績

令和7年度設置
6個(2箇所×3センサの設置)

今後の予定(5年程度)

—

藤原川水系

これまでの実績

—

今後の予定(5年程度)

—

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6120

内水対策浸水センサの設置

取組内容

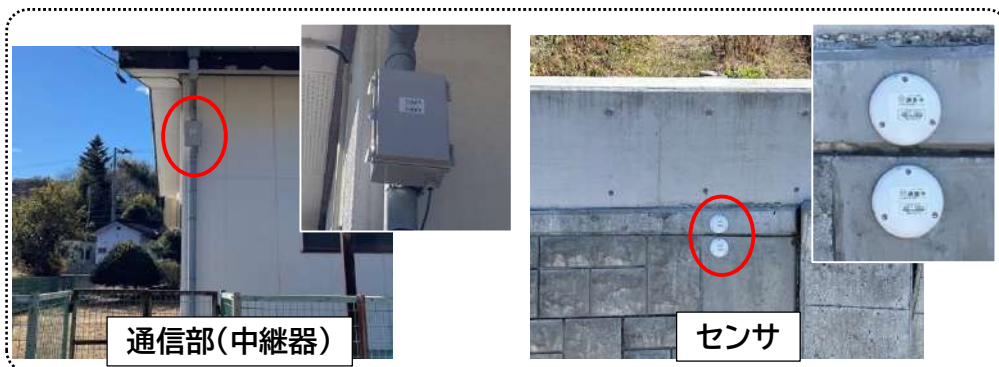
概 要

国のワンコイン浸水センサ実証実験に参画し、内水氾濫検知のため、浸水センサの有効性を確認するものです。また、当該実証実験の結果を踏まえ、浸水センサの効果的な設置箇所を検討していきます。

対策のイメージ

- ・冠水が予想される道路や、水路などにセンサを設置します。
- ・センサは、令和7年度より国の「浸水センサ表示システム」で確認できます。

【浸水センサ設置イメージ】



【浸水センサ表示システム】



対策の効果

内水氾濫の把握による的確かつ迅速な水防活動の実施

目 標

指 標

浸水センサ設置箇所数

目標値（令和 10 年度末まで）

夏井川水系：26 箇所、鮫川水系：2 箇所、藤原川水系：10 箇所
※設置個所については有効性を踏まえ適宜修正。

夏井川水系

これまでの実績

26 箇所

今後の予定（5 年程度）

設置個所の検討

鮫川水系

これまでの実績

2箇所

今後の予定（5 年程度）

設置個所の検討

藤原川水系

これまでの実績

10 箇所

今後の予定（5 年程度）

設置個所の検討

問合せ先

いわき土木部土木政策課河川政策担当 TEL 0246-22-7492
いわき市土木部維持保全課 TEL 0246-22-7495
いわき市生活環境部下水道事業課 TEL 0246-22-1195

目 標

指 標

「BCP」及び「事業継続力強化計画」を策定する企業
(市内の中小企業・小規模企業等が対象)

目標値（令和 10 年度末まで）

50 社

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

令和3年度は2件、令和4年度は9件、令和5年度は 13 件、令和6年度は4件に
BCP 等策定支援補助金を交付。
毎年2回程度セミナーを実施。

今後の予定（5年程度）

セミナーの開催や補助金の周知などを実施し、BCP等策定への意識向上を促進していく。

消防庁舎の浸水対策工事の実施

取組内容

概 要

小名浜消防署は藤原川、勿来消防署は鮫川の流域に位置しており、河川洪水ハザードマップにおいて、それぞれ 0.5m から 3m の浸水深とされていることから、大規模水害時においても防災拠点としての機能を維持するため対策を講じるものです。

対策のイメージ

庁舎の抜本的な浸水対策として、非常用電源設備及び受変電設備を架台の設置により早急な移設を図るものです。



対策の効果

防災拠点としての機能確保

目 標

指 標

-

目標値（令和 10 年度末まで）

令和8年度竣工

夏井川水系

これまでの実績

消防本部・平消防署統合庁舎
①非常用電源設備の地上化工事 R4.1.31 竣工
②止水板の設置工事 R3.8.12 竣工

今後の予定（5年程度）

なし

鮫川水系

これまでの実績

なし

今後の予定（5年程度）

勿来消防署非常用電源設置等工事

藤原川水系

これまでの実績

なし

今後の予定（5年程度）

小名浜消防署非常用電源設置等工事

問合せ先

いわき市消防本部総務課 TEL 0246-24-3940

障がい者施設等の水害対策強化

取組内容

概 要

障がい者支援施設等における水害対策を目的とした施設整備に対して補助を行うものです。

対策のイメージ

社会福祉施設整備費の国庫補助に係る協議等について(厚生労働省社会・援護局長通知 社援発 0331 第 42 号)より抜粋

9 水害対策強化整備について

障害者支援施設等における水害対策を推進するため、水害対策のための施設整備事業を行うこととしており、その事業内容については以下のとおりとする。

(1) 対象事業

障害者支援施設等において行われる水害対策のための施設整備事業であって、大雨等の災害に備えて、利用者が円滑で安全な避難を行うために必要な整備

(例)

- ・ エレベーター未設置施設へのエレベーター設置工事
- ・ 車椅子での迅速な避難を促進するための、スロープ設置工事
- ・ 施設の安全な場所に避難するために、利用者や職員が避難できるような十分なスペース確保のための改修工事
- ・ 非常用自家発電設備等の電気設備を水害から守るために、施設の屋上等に移設するための工事
- ・ 施設の出入り口からの浸水や土砂流入を防ぐための止水板等の設置工事
- ・ 洪水浸水想定区域(水防法第十四条)等危険区域に所在する施設の安全を確保する観点から、入所施設等において水害対策のための移転改築整備を図るもの

(2) 対象施設(対象区域内に所在する以下の施設)

- ・ 障害者支援施設
- ・ 共同生活援助事業所
- ・ 短期入所事業所
- ・ 宿泊型自立訓練事業所
- ・ 救護施設
- ・ 更生施設
- ・ 宿所提供施設

※ 対象区域

- ・ 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条により、都道府県知事が指定した土砂災害警戒区域又は同法第9条により都道府県知事が指定した土砂災害特別警戒区域内に所在する施設
- ・ 水防法第14条により、都道府県知事が、洪水浸水想定区域として指定した区域内に所在する施設
- ・ 水防法第14条の2により、都道府県知事又は市町村長が、雨水出水浸水想定区域として指定した区域内に所在する施設
- ・ 水防法第14条の3により、都道府県知事が、高潮浸水想定区域として指定した区域内に所在する施設
- ・ 津波防災地域づくりに関する法律第53条により、都道府県知事が指定した津波災害警戒区域又は同法第72条により都道府県知事が指定した津波災害特別警戒区域内に所在する施設
- ・ 地すべり等防止法第3条により、主務大臣が指定した地すべり区域又は地すべり防止区域内に所在する施設
- ・ 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条により、都道府県知事が指定した急傾斜地崩壊危険区域内に所在する施設
- ・ その他、水害における被害の発生の危険性が認められ、各自自治体の地域防災計画等により指定されている施設

対策の効果

- ・ 障がい者支援施設等における水害対策の推進

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

実施主体からの申請があれば審査委員会で優先順位を決めて対応

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

0件

今後の予定（5年程度）

実施主体からの申請があれば審査委員会で優先順位を決めて対応

問合せ先

いわき市保健福祉部障がい福祉課

TEL 0246-22-7485

高齢者施設等の水害対策強化

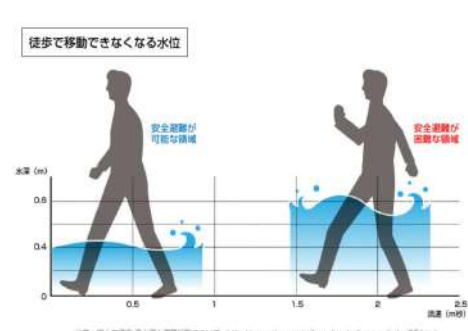
取組内容

概 要

高齢者施設等における防災・減災対策を推進するため、水害対策に伴う改修に必要な経費を支援するものです。

対策のイメージ

高齢者施設等の利用者等の安全・安心を確保するため、国の「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」を活用し、水害対策に伴う改修等を促進するものです。



対策の効果

- ・ 逃げ遅れによる人的被害の防止
- ・ 防災意識の向上

目 標

指 標

浸水エリアに位置する高齢者施設等の水害に関する防災・減災等の基盤整備完了事業所数(ただし、補助金の採択については国によって実施される)

目標値(令和10年度末まで)

3事業所程度

夏井川水系

これまでの実績

整備完了施設:1事業所

今後の予定(5年程度)

引き続き、対象施設に対し、積極的な補助金の活用について広く周知を図る。

鮫川水系

これまでの実績

整備完了施設:1事業所

今後の予定(5年程度)

引き続き、対象施設に対し、積極的な補助金の活用について広く周知を図る。

藤原川水系

これまでの実績

整備完了施設:1事業所

今後の予定(5年程度)

引き続き、対象施設に対し、積極的な補助金の活用について広く周知を図る。

問合せ先

いわき市保健福祉部高齢福祉課

TEL 0246-22-7467

ライフラインの浸水対策の検討

取組内容

概 要

河川洪水ハザードマップで浸水被害が想定される配水施設を対象に浸水対策を実施するものです。

対策のイメージ

対象配水施設の出入口や窓などの開口部に脱着式防水板や止水壁等を設置するものです。

防護壁の設置

法田ポンプ場【完了】



平浄水場【施工中】



開口部の防水化

下平窪取水場【対策前】



下平窪取水場【対策後】



対策の効果

- ・ 災害時における配水施設の機能を維持
- ・ 安定した給水の確保

目 標

指 標

洪水浸水想定区域に位置し、浸水被害が想定されるポンプ場

目標値（令和 10 年度末まで）

4施設

（平窪第2ポンプ場、好間ポンプ場、薬王寺ポンプ場、独古内ポンプ場）

夏井川水系

これまでの実績

令和5年度
・平窪第2ポンプ場 ・薬王寺ポンプ場

令和6年度
・好間ポンプ場 ・独古内ポンプ場

今後の予定（5年程度）

なし

問合せ先

いわき市水道局工務課 TEL 0246-22-9306

ライフラインの浸水対策の検討

取組内容

概 要

災害時においても市民生活に多大な影響を及ぼす重要インフラの1つである水道施設の機能を維持するよう、浸水対策を実施するものです。

対策のイメージ

個別の構造物または施設全体を防護壁で囲む防護壁の設置や、施設の窓や扉などの開口部に防水性能をもたせる開口部の防水化を実施するものです。

防護壁の設置

【対策例】



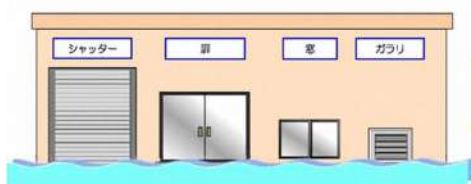
【対策例】



写真提供：宮崎市上下水道局

開口部の防水化

【現 状】



【対策例】



対策の効果

- ・ 災害時における水道施設の機能を維持
- ・ 安定的な給水の確保

目 標

指 標

浸水対策を実施する水道浄水施設
(洪水浸水想定区域に位置する水道浄水施設)

目標値（令和 10 年度末まで）

3 施設

夏井川水系

これまでの実績

下平窪取水場

今後の予定（5 年程度）

平浄水場

鮫川水系

これまでの実績

法田ポンプ場

今後の予定（5 年程度）

—

問合せ先

いわき市水道局浄水課 TEL 0246-22-9320

ライフラインの浸水対策の検討

取組内容

概 要

河川洪水ハザードマップから、浸水の被害が想定される釜戸第1ポンプ場に対し、予防対策を実施するものです。

対策のイメージ

ポンプ場建屋出入口に簡易防水板を設置するなどの浸水対策を行うものです。

【施工前】



【施工後】



対策の効果

- ・ 浸水による施設の被害軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

令和6年度に浸水対策完了

藤原川水系

これまでの実績

- ・ 令和4年度にポンプ場建屋入口へ土のうを設置(仮設)
- ・ 令和5年度に浸水対策工事を実施

今後の予定（5年程度）

浸水対策済

問合せ先

いわき市水道局南部工事事務所 TEL 0246-75-0801

ポンプ施設整備工事の実施

取組内容

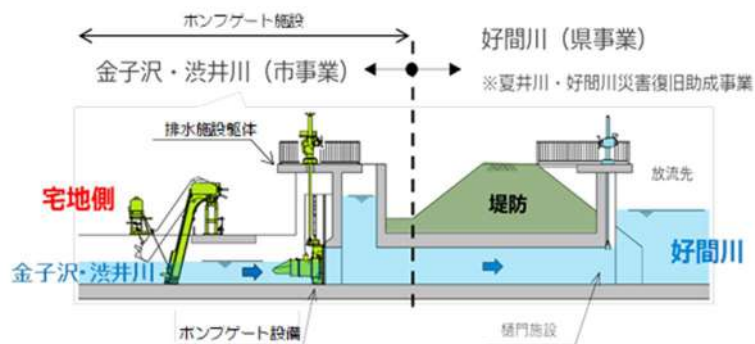
概 要

令和元年東日本台風に伴い増水した二級河川好間川と市管理河川(金子沢・渋井川)との合流部において、好間川からの逆流防止を目的に宅地側の浸水被害の軽減を図るため、ポンプゲート施設を整備するもの。

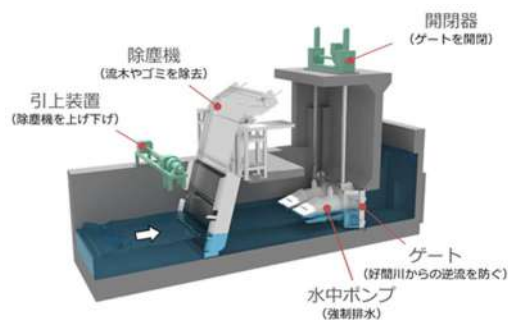
対策のイメージ

- ・ 金子沢 : (工事場所)いわき市好間町中好間字下川原 地内
(工事概要)ポンプゲート設備 1式、排水施設躯体 1式
- ・ 渋井川 : (工事場所)いわき市好間町下好間字渋井 地内
(工事概要)ポンプゲート設備 1式、排水施設躯体 1式、導水路 1式

整備イメージ図



ポンプゲート施設イメージ図



対策の効果

- ・ 浸水被害の軽減

目 標

指 標

ポンプゲート設置施設数

目標値（令和 10 年度末まで）

2 施設
（金子沢・渋井川）

夏井川水系

これまでの実績

- ・ 仮設工
- ・ 躯体工
- ・ 設備工

今後の予定（5 年程度）

問合せ先

いわき市土木部維持保全課 TEL 0246-22-7495

下水道施設の強靱化対策工事の実施

取組内容

概 要

近年、気候変動の影響に伴う降雨量の増加や、ゲリラ豪雨の頻発等により、従来の計画規模を超える降雨が発生し、浸水リスクが高まっていることから、気候変動の影響を踏まえた新たな計画規模の降雨に対する雨水管渠等の下水道施設の整備を進めるものです。

また、河川氾濫等の災害時においても、一定の下水道機能を確保するため、リスクの高い施設から耐水化を実施するものです。

対策のイメージ

例：雨水管渠の整備



例：ポンプ場の耐水化



対策の効果

- ・ 排水能力の強化
- ・ 浸水被害の軽減

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

雨水管理総合計画に基づく事業着手

夏井川水系

これまでの実績

—

今後の予定（5 年程度）

- ・ 内郷御厩・綴地区雨水貯留施設整備（調査設計および管理者等協議）
- ・ 新町前ポンプ場改築

鮫川水系

これまでの実績

- ・ 錦中田2号雨水幹線整備

今後の予定（5 年程度）

検討中

藤原川水系

これまでの実績

- ・ 芳川ポンプ場改築
- ・ 君ヶ塚合流幹線改築

今後の予定（5 年程度）

検討中

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室下水道事業課

TEL 0246-22-1195

災害時非常用備蓄品の整備

取組内容

概 要

初動対応の迅速化と避難所機能の充実を図る観点から、災害対応の拠点となる災害対策地区本部(本庁・支所)及び主要な避難所(小・中学校、体育施設など)に防災備蓄倉庫を整備するとともに、非常用食糧、保存用飲料水、資機材を備蓄するものです。

対策のイメージ



本庁、支所及び避難所(学校、公民館、体育施設等)123か所に設置。



倉庫の中には食糧(レトルトご飯等)、保存用飲料水、毛布、資機材等を備蓄。



対策の効果

- ・ 初動対応の迅速化
- ・ 避難所機能の充実

目 標

指 標

福島県による最新の被害想定(R4.11)や、大規模災害時における国の対応等のほか、本市を取り巻く物流状況の変化や市民対象のアンケート結果等を踏まえ、「いわき市非常用備蓄品管理要綱」に基づいて整備している。

・想定される避難所への避難者(39,500 人)の3日分(9食分)のうち、4食分(158,000 食分)を公的備蓄により整備(残りは協定に基づく流通在庫及び避難者の持参により対応)することとし、レトルトご飯、フリーズドライご飯、やわらかいパン等を購入。

・避難所避難者の2日分として、保存用飲料水(237,000ℓ)を備蓄。

・毛布、発動発電機及び投光器等の資機材等を整備。

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・防災備蓄倉庫を123か所に設置
- ・災害時における応急的な食糧(158,000食分)や飲料水(237,000ℓ)等の公的備蓄及び更新管理

今後の予定(5年程度)

- ・食糧及び飲料水等の公的備蓄及び更新管理
- ・発電機、投光器等の資機材の劣化や破損品の更新

問合せ先

いわき市危機管理部危機管理課 TEL 0246-22-1204

自主防災組織活動の活性化及び防災士の育成

取組内容

概 要

自主防災組織の機能強化を図り、自助・共助による防災力の向上を図るほか、地域の防災リーダーとして活動する人材を育成するものです。

対策のイメージ

防災士養成講座の実施(年2回)、登録防災士の研修(年4回程度)及び活動の実施、自主防災組織の代表者等を対象とした研修会の実施(年1回)、未結成地区への結成促進



防災士養成講座の様子



自主防災組織研修会の様子



登録防災士スキルアップ研修の様子
(避難所開設・運営)



登録防災士スキルアップ研修の様子
(登録防災士と自主防災組織の意見交換)

対策の効果

- ・ 新たな共助の担い手の育成
- ・ 自主防災組織世帯カバー率の向上及び活性化

目 標

指 標

登録防災士登録者数

(新たな共助の担い手の育成)

目標値 (令和 10 年度末まで)

580 名

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

登録防災士登録者数 356 名

今後の予定 (5 年程度)

年度ごとに65名(防災士養成講座
受講者)の新規登録

問合せ先

いわき市危機管理部危機管理課
いわき市危機管理部災害対策課

TEL 0246-22-1204
TEL 0246-22-1242

防災知識の向上と防災意識の高揚

取組内容

概 要

各行政区や小中学校等を訪問し、防災講座等により防災啓発事業を実施するものです。

その他各行政区、団体が主催する訓練支援や YouTube を活用し、防災に関する配信を行う等、あらゆる機会を捉えて、防災知識の向上と防災意識の高揚を行うものです。

対策のイメージ

地区・学校等が主催した防災活動



内町大運防会



錦東小学校津波避難訓練



酒井地区の訓練



勿来町大高自主防災会での防災講座

対策の効果

- ・ 自助力の強化
- ・ 共助力の強化
- ・ 新たな共助の担い手の育成

目 標

指 標

出前講座の実施人数

(自助力の強化・新たな共助の担い手の育成)

目標値 (令和 10 年度末まで)

6,080 名

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

R6年度防災講座等の参加者数 5,346 名
(令和7年 3 月 31日時点)

今後の予定 (5 年程度)

年度ごとに受講者を5%増加

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課 TEL 0246-22-1153

情報伝達手段の強化

取組内容

概 要

災害情報伝達の強化に向け、「いわき市防災メール」の普及啓発をはじめ、コミュニティ放送局「FMいわき(76.2MHz)」と連携し、緊急時に自動起動し、いわき市からの緊急情報が放送される「いわき市防災ラジオ」の無償貸与を実施するものです。

対策のイメージ

【いわき市防災メール】

市からの避難情報、火災情報、その他緊急情報(防犯情報、感染症情報、水道情報など)のほか、気象情報が、随時、配信されます。

【いわき市防災ラジオ】

市からの緊急情報が出されると、FM いわきの電波を利用して自動的に電源が入り、市の防災無線放送が流れる「いわき市防災ラジオ」の無償貸与を実施します。

自主防災組織の代表者、民生委員及び児童委員のほか、市内に住所を有する世帯の世帯主が対象です。

<防災メールの登録>



<防災ラジオの貸与>



対策の効果

- ・ 自助力の強化

目 標

指 標

- ・防災メール登録者数（自助力の強化）
- ・防災ラジオの貸出台数（自助力の強化）

目標値（令和 10 年度末まで）

防災メール登録者 50,000 人

防災ラジオ貸与台数 3,100 台

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・防災メール登録者 27,349 人
（令和7年3月 31 日時点）
- ・防災ラジオ貸与台数 2,959 台
（令和7年3月 31 日時点）

今後の予定（5 年程度）

- ・防災メール登録者の拡大
- ・防災ラジオの継続貸与

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課

TEL 0246-22-1242

災害対策BCPの策定

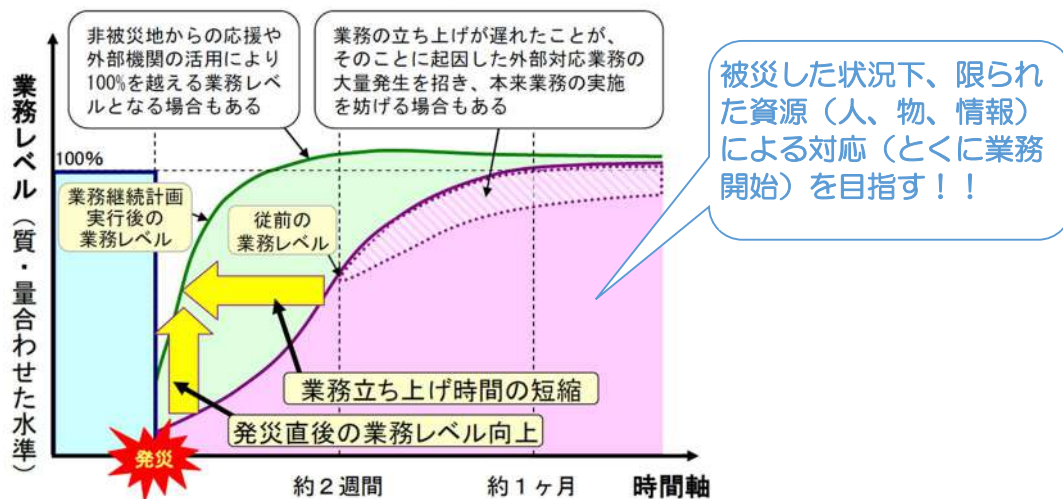
取組内容

概要

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、大規模災害発生時の市役所機能が低下する中であっても、市民生活への影響を最小限とするよう速やかに「災害対応業務」を開始するとともに、市民生活に密着する行政サービスの提供や市の基幹業務などの「継続の必要性の高い通常業務」を継続して実施するため、『いわき市業務継続計画(BCP)【自然災害編】』を作成するものです。

対策のイメージ

BCP 実践に伴う効果のイメージ



対策の効果

- ・ 災害対応力の強化
- ・ 市民サービスの維持

目 標

指 標

- ・いわき市業務継続計画(BCP)【自然災害編】の改訂(重要6要素の改訂)

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・いわき市業務継続計画(BCP)【地震・津波災害対策編】を作成
(平成 27 年:作成、令和元年:最終改訂)
- ・いわき市業務継続計画(BCP)【地震・津波災害対策編】を風水害を含む
【自然災害編】に改定

今後の予定(5年程度)

- ・重要6要素の見直しを反映した計画の改訂

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課 TEL 0246-22-1242

防災に係る教育活動の実施

取組内容

概 要

本市は平成 23 年の東日本大震災に続き、令和元年東日本台風など、これまで大規模な自然災害に見舞われ、大きな被害を受けてきたが、それ以降も、たびたび発生する台風や豪雨、地震、津波による危険に襲われている。それらの災害を踏まえ、「自らの命は自らが守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を一人ひとりが持ち、災害時にとるべき行動を把握することが非常に重要です。

また、災害時の被害を最小限にするため、日常における災害リスクを理解し、地域一体となった防災意識の高揚に向け、将来、地域の防災力を担うこととなる子供たちへ防災講座等の実施をするものです。

対策のイメージ

防災教育の実施の様子



避難所開設・運営訓練における
車イス取扱い訓練



防災マップ作成に係る
まち歩きの様子

対策の効果

- ・ 共助力の強化
- ・ 自助力の強化
- ・ 新たな共助の担い手の育成

目 標

指 標

防災講座の実施人数

(自助力の強化・新たな共助の担い手の育成)

目標値 (令和 10 年度末まで)

6,080 名

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

R6年度防災講座等の参加者数 5,346 名
(令和7年 3 月 31日時点)

今後の予定 (5年程度)

年度ごとに受講者を5%増加

問合せ先

いわき市危機管理部災害対策課 TEL 0246-22-1153

防災に係る出前講座の実施

取組内容

概 要

「大雨に対する備えを」のテーマのもと、浸水(内水)ハザードマップの見方や活用方法について解説し、大雨時の対処方法等に関する理解の向上を図るものです。

対策のイメージ

「市役所出前講座」は、市民の自発的な生涯学習活動を支援するため、市役所の業務を学習メニューとして取りそろえ、市職員を講師として派遣する取組みであり、市民からの申込みに応じて実施するものです。

講義風景



講義内容

- ・「内水」とは？
- ・本市の下水道事業の取組みについて
- ・近年の降雨について
- ・ハザードマップについて
- ・浸水(内水)ハザードマップについて



(参考) 講義資料の一例

対策の効果

- ・防災意識の向上
- ・浸水に関する情報の共有及び自助・共助の取組みの促進

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・ 平成 30 年度：申込み無し
- ・ 令和元年度：申込み無し
- ・ 令和 2 年度：1 回
- ・ 令和 3 年度：2 回
- ・ 令和 4 年度：2 回
- ・ 令和 5 年度：2 回
- ・ 令和 6 年度：3 回

今後の予定（5 年程度）

申込みに応じて適宜対応

問合せ先

いわき市生活環境部生活排水対策室下水道事業課

TEL 0246-22-1195

自主防災組織活動の促進

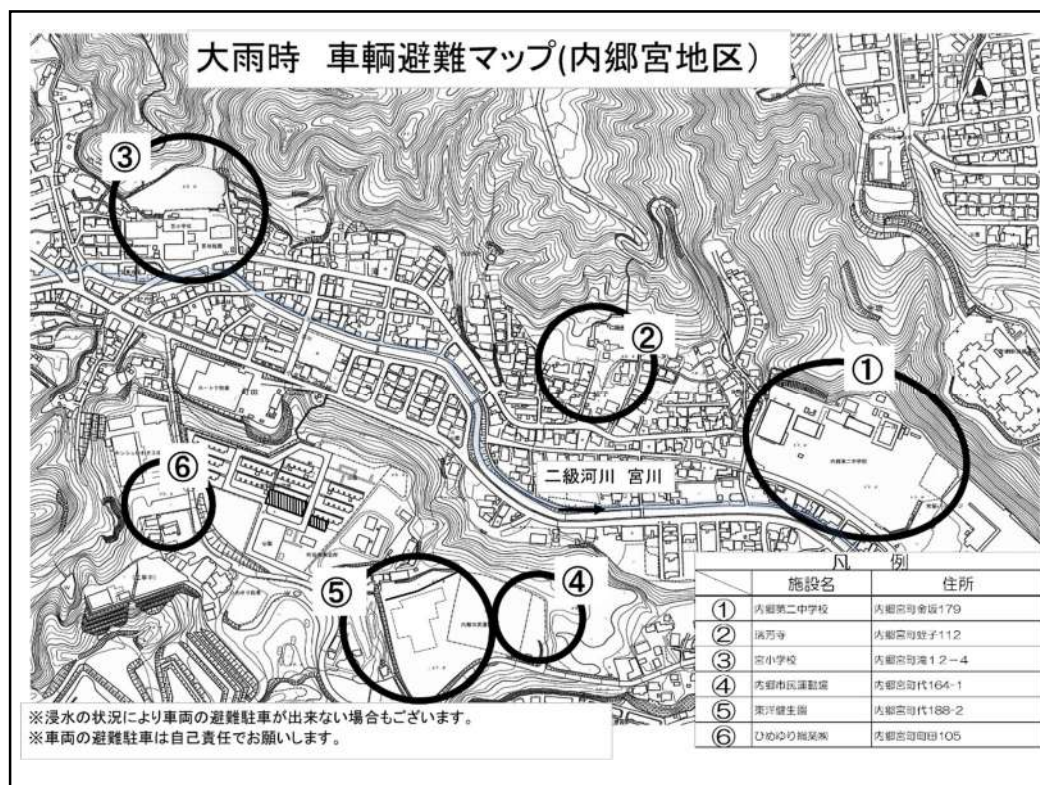
取組内容

概要

令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた、二級河川宮川沿川の内郷宮町地区において、大雨による水害発生前に車両を高台に避難させるべく、宮地区行政嘱託員(区長)連合会において「車両避難マップ」を作成し住民等へ周知するものです。

対策のイメージ

車両避難マップは、高台の車両避難箇所を具体的に図面に示したものの



対策の効果

- ・ 防災意識の向上

目 標

指 標

令和5年台風13号の被害エリア並びに現在解析中である二級河川宮川の
浸水想定区域と車両避難マップの整合性を図る

目標値（令和 10 年度末まで）

1 地区（宮地区）

夏井川水系

これまでの実績

宮地区
（二級河川 宮川）

今後の予定（5年程度）

宮地区
（二級河川 宮川）

問合せ先

いわき市総務部内郷支所 TEL 0246-26-11111

社会福祉施設等における避難確保計画の作成等

取組内容

概 要

平成29年の水防法等の改正により、災害エリア内に立地する社会福祉施設等に義務づけられた避難確保計画の作成・避難訓練の実施の徹底を図るものです。

対策のイメージ

既存指定事業所や新規指定事業所における避難確保計画の作成状況を確認するとともに、その内容の見直しを行い、有効かつ実効性のある計画となるよう支援を行うものです。定期的な避難訓練実施を勧奨しています。



対策の効果

- ・ 防災力の向上
- ・ 共助力の向上

目 標

指 標

避難確保計画の作成率

(浸水想定区域等に立地する社会福祉施設等の要配慮者利用施設に作成義務がある。)

目標値 (令和 10 年度末まで)

100%

夏井川水系

これまでの実績

実施率:100%(指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容について確認を行っている。)

今後の予定 (5 年程度)

引き続き、対象施設の指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容の確認を行っていく。

鮫川水系

これまでの実績

実施率:100%(指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容について確認を行っている。)

今後の予定 (5 年程度)

引き続き、対象施設の指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容の確認を行っていく。

藤原川水系

これまでの実績

実施率:100%(指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容について確認を行っている。)

今後の予定 (5 年程度)

引き続き、対象施設の指定更新・新規指定時に提出を求め、その内容の確認を行っていく。

問合せ先

いわき市保健福祉部高齢福祉課 TEL 0246-22-7467

社会福祉施設等における避難確保計画の作成等

取組内容

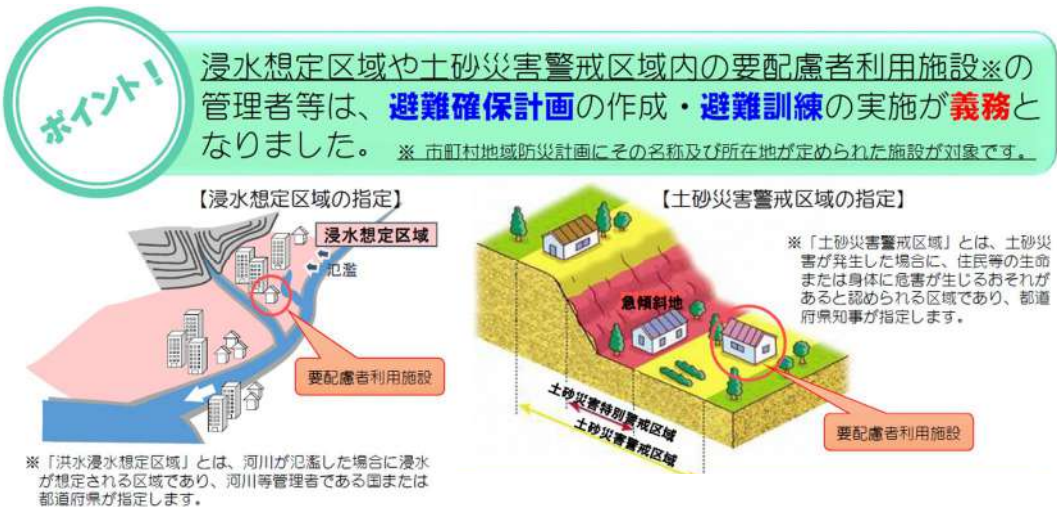
概 要

地域防災計画に位置付けられている対象施設における避難確保計画を作成するものです。

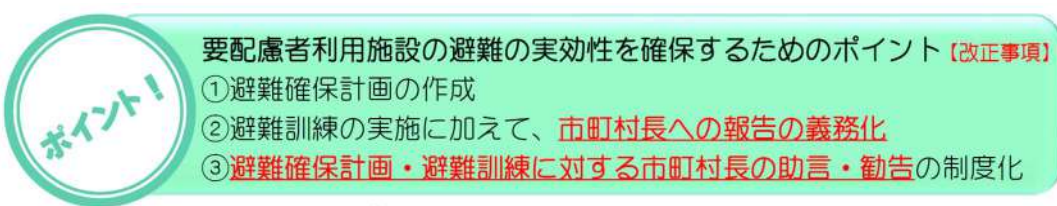
対策のイメージ

国土交通省作成のパンフレットより抜粋

《平成 29 年6月水防法・土砂災害防止法改正時》



《令和3年年7月水防法・土砂災害防止法改正時》



対策の効果

- ・ 利用者の円滑かつ迅速な避難の確保
- ・ 防災力の向上

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

対象施設が追加された場合には、避難確保計画の作成状況を適宜確認

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

0件

今後の予定（5 年程度）

対象施設が追加された場合には、避難確保計画の作成状況を適宜確認

問合せ先

いわき市保健福祉部障がい福祉課

TEL 0246-22-7486

個人の避難計画を考える「ふくしまマイ避難ノート」の周知

取組内容

概 要

県民に対し、マイ避難(日頃から一人一人が自分に合った適切な避難行動について考え、備えること)を普及するため啓発を実施するものです。

対策のイメージ

マイ避難を普及させるため、防災イベントやマイ避難推進講習会の開催に加え、特設サイトの作成、マイ避難シートの作成もできる防災アプリの公開等を実施するものです。



マイ避難ノート



マイ避難シート作成サイト



防災イベント「そなえる・ふくしま 2024」



マイ避難推進講習会

対策の効果

- ・ 県民の「自助」の意識の向上
- ・ 県民の適切かつ迅速な避難行動を実現

目 標

指 標

大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていると回答した県民の割合(意識調査)

目標値(令和10年度末まで)

87.8%

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

○マイ避難の普及啓発

【令和2年度】

- ・マイ避難ノートの制作及び県内全戸配布

【令和3年度】

- ・国の「警戒レベル」変更に伴うマイ避難ノートの改定及び県内全戸配布
- ・マイ避難シート作成用特設サイトの公開

【令和4,5,6年度】

- ・各種媒体を用いた広報(テレビ、新聞、ラジオ、SNS等)

【令和5,6年度】

- ・マイ避難推進員によるマイ避難推進講習会の実施
(県内80回開催、約2,000人受講)【令和5年度】
(県内123回開催、約3,600人受講)【令和6年度】

○防災イベントの開催

- ・そなえる・ふくしま2022(来場者数:約2,700人/マイ避難シート作成体験者:175組)
- ・そなえる・ふくしま2023(来場者数:約2,200人/マイ避難シート作成体験者:229組)
- ・そなえる・ふくしま2024(来場者数:約6,600人/マイ避難シート作成体験者:326組)

今後の予定(5年程度)

防災アプリを利用したマイ避難の推進など、新たな手法も取り入れつつ、啓発を継続していく。

問合せ先

福島県危機管理部災害対策課 TEL 024-521-7641

防災意識向上のための出前講座

取組内容

概 要

集中豪雨等による洪水や土砂災害から命を守るための知識を身につけ、防災意識の高い人材を育成するために希望する小・中学校を訪問し実施するものです。

対策のイメージ

災害の特徴や前兆現象について理解しやすいように事例や模型を踏まえ説明し、小・中学生が防災に興味を持つように実施するものです。



対策の効果

- ・ 防災意識の向上
- ・ 非常時の防災行動の向上

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

毎年約10校で実施

今後の予定（5年程度）

希望する小、中学校等で実施

問合せ先

福島県いわき建設事務所企画管理部管理課 TEL 0246-24-6120

適切な避難所、避難場所等の設置・運営

取組内容

概 要

「逃げ遅れゼロ」、「災害死ゼロ」に向け、避難所、避難場所等の環境改善に向けた取組みを実施するものです。

対策のイメージ

- ・ 避難者のプライバシーや体調面に配慮した資機材等の整備
- ・ 避難所開設、運営訓練の実施
- ・ 「逃げ遅れゼロ」に向けた自動車避難場所、垂直避難場所の確保



登録防災士スキルアップ研修
(避難所開設・運営)



「おやこ防災キャンプ」
(親子でパーテーションを組立て)



自主防災会と登録防災士が連携・協力して
実施した自動車避難訓練
(好間工業団地内自動車避難場所)



避難所等に必要な資機材等を整備



対策の効果

- ・避難環境の整備により、避難者の健康維持等が図られ、「逃げ遅れゼロ」、「災害死ゼロ」に繋がる。
- ・避難所設営の迅速化、円滑化等が図られる。

目 標

指 標

- ・ 避難所の生活環境改善のため、避難所にパーテーション、炊き出し用かまど等を整備する。

目標値（令和 10 年度末まで）

- ・ パーテーション 4,670 台
- ・ 炊き出し用かまど 71 台

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・ パーテーション 1,950 台
- ・ 炊き出し用かまど 41 台

今後の予定（5 年程度）

- ・ パーテーションについては、令和 10 年度末までに 4,670 台、炊き出し用かまどについては、令和 7 年度末までに 41 台整備する。

問合せ先

いわき危機管理部危機管理課 TEL 0246-22-1204

災害協定締結の拡充・活用

取組内容

概 要

同時被災の可能性の低い遠地の自治体や、市内の医療関係団体、小売業界、輸送業界、土木業界、福祉事業者など民間の多様な団体との間で協定を締結し、平時から発災直後の初動対応や復旧・復興の対応力向上に努めるものです。

対策のイメージ

- ・ 新たな協定の締結



国立大学法人東北大学災害科学
国際研究所との協定締結
(令和4年 10 月)

- ・ 平時及び災害時における協定の活用



福島県タクシー協会いわき支部
との連携・協力により実施した
避難所への輸送訓練

対策の効果

- ・ 多方面からの支援による復旧・復興の迅速化及び円滑化
- ・ 協定締結団体等の連携・強化による災害対応の迅速化及び円滑化

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

- ・ 市総合防災訓練等における協定締結団体の活用
- ・ 新たな協定締結による災害時支援体制の充実

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・ 自治体相互応援協定 17件
- ・ 民間事業者等応援協定 103 件
- ・ 災害時緊急一時避難施設に係る協定 30 件

今後の予定（5 年程度）

- ・ 協定締結団体（輸送業界等）と連携・協力した市総合防災訓練等の実施
- ・ 新たな協定締結（物資供給関係等）

問合せ先

いわき危機管理部危機管理課 TEL 0246-22-1204

市街地再生整備における法面对策工の実施

取組内容

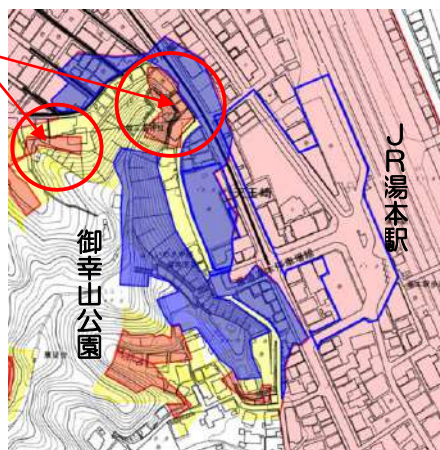
概要

常磐地区における、コンパクトで安心安全な都市構造への再編を図るための市街地再生整備にあたり、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域に隣接する土砂災害特別警戒区域の法面对策を実施するものです。

対策のイメージ

令和4年11月に改正した立地適正化計画において、「今後災害防止のための措置が見込まれる区域」として、新たに都市機能誘導区域となった区域に隣接する土砂災害特別警戒区域の法面对策を実施し、区域内の防災性向上を図るものです。

対策箇所



- | | |
|--|--------------------|
| | : 都市機能誘導区域 |
| | : 都市機能誘導区域（令和4年追加） |
| | : 土砂災害特別警戒区域 |
| | : 土砂災害警戒区域 |
| | : 市街地再生整備事業実施区域 |

≪ 対策前(現況) ≫



≪ 対策後(イメージ) ≫



対策の効果

- ・ 都市機能誘導区域内の防災性向上
- ・ 市街地再生整備における安全確保

目 標

指 標

法面对策工の実施箇所

目標値（令和 10 年度末まで）

法面对策工 2箇所

藤原川水系

これまでの実績

令和5年度 測量設計及び地質調査実施

今後の予定（5年程度）

- ・ 令和6年度 測量設計実施(継続)
- ・ 令和7年度以降、対策工事实施予定

問合せ先

いわき市都市建設部都市整備課 TEL 0246-22-1276

土のう袋及び土砂の提供

取組内容

概 要

家屋への浸水被害の軽減や防災意識の向上を目的として、市民の皆様を対象に、土のう袋(袋のみ)の配布と土のう作成のための土砂の提供を実施するものです。

対策のイメージ

- ・土のう袋の配布(本庁土木政策課河川政策担当、各支所の全 13 箇所)
- ・土砂の提供(平、小名浜、勿来、常磐、四倉の 5 箇所)

【土のう袋、土砂配布箇所イメージ】



対策の効果

家屋への浸水被害の軽減や防災意識の向上

目 標

指 標

—

目標値（令和 10 年度末まで）

—

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

土のう袋の配布

R4:2,955 枚

R5:48,263 枚(4,663 枚)

R6:5,816 枚

※R5 の枚数については、令和5年台風第13号の発災により、特例的な配布を行った実績枚数。

(): 特例的な配布を行った9月分を除いた合計値

※いわき市内全域の実績枚数

土砂の提供

R4: -

R5:14 m³

R6:35 m³

今後の予定（5年程度）

土のう袋の配布と土砂の提供を継続

問合せ先

いわき市土木部土木政策課河川政策担当 TEL 0246-22-7492

災害廃棄物の処理対策強化

取組内容

概要

市が開設する仮置場とは別に、地域住民の判断で設置できる臨時集積所の体制を整え、災害廃棄物の迅速な撤去、早期復旧を目指すものです。

対策のイメージ

平時において、地域住民自らが臨時集積所とする場所を選定。選定した土地を市に届け出ること、発災時には市の判断によらず、地域住民が臨時集積所を開設できる。これにより、迅速な片づけ作業着手を可能にするとともに、勝手仮置場、不法投棄の発生を防止できます。



対策の効果

災害廃棄物の片づけ作業を迅速化
不法投棄の発生防止
生活環境の保全

目 標

指 標

市内全ての行政区で臨時集積所の必要性について話し合いが行われるよう制度の周知に務める。

臨時集積所を必要とする地区で、土地の選定や発災時の開設など、必要な作業が円滑に実施できる体制の構築を目指す。

目標値（令和 10 年度末まで）

371 地区で重点推進

※ 河川浸水が想定される行政区（令和6年4月1日時点）を重点地区とする。

夏井川水系・鮫川水系・藤原川水系

これまでの実績

- ・ 令和6年度から事業開始
 - ・ 各地区で説明会を実施
 - ・ 臨時集積所の届出受付
- ※ 受 付 : 83 件
登録完了 : 79 件
手続き中 : 4 件
(令和7年3月31日時点)

今後の予定（5年程度）

- ・ 市民広報の強化
- ・ 出前講座の開設
- ・ 臨時集積所開設訓練の実施
- ・ 市内全域での事業推進

問合せ先

いわき市生活環境部資源循環推進課 TEL 0246-22-7529

6 市民の皆様が取り組める対策

6.1 氾濫をできるだけ防ぐための対策

対象	方法	対策内容	ページ
集水域	ためる、しみこませる	雨水貯留タンク等の設置	P172
		田んぼダムの取組み	P172
		森林の保全	P172
		雨の日にお風呂などの水を流さない取組み	P172
		庭に雨水が染み込む取組み	P172

6.2 氾濫をできるだけ防ぐための対策

対象	方法	対策内容	ページ
氾濫域	建物浸水の防止・軽減	止水板の設置	P173
		宅地の嵩上げ等の取組み	P173

6.3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

対象	方法	対策内容	ページ
氾濫域	土地のリスク情報の充実	各種ハザードマップの確認	P173
氾濫域	防災意識の普及等	家族や地域での助け合い	P173
		河川の水位情報等の確認	P174
		マイ避難ノートの作成	P174
		出前講座(防災関係)への参加	P174
		防災訓練の実施	P174

取組内容

● 雨水貯留タンク等の設置

家庭に雨水貯留タンクや雨水浸透ますを設置することにより、雨水の流出抑制が図られます。

(設置補助)

P11～12「雨水流出抑制施設の設置補助」

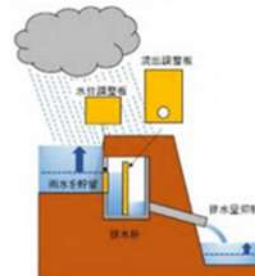


● 田んぼダムの取組み

田んぼに雨水を貯留し、時間をかけて排水する「田んぼダム」の取組を行うことにより、雨水の流出抑制が図られます。

(設置補助)

P21～26「田んぼダムの取組促進に向けた検討」等



● 森林の保全

森林を適切に整備・管理することにより、水源かん養機能や土砂流出防止機能の維持・向上が図られる。

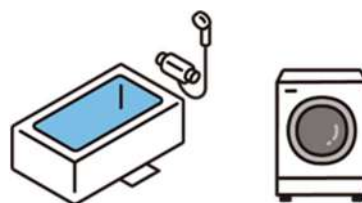
(活用制度)

P27～28「森林経営管理制度による森林整備の推進」



● 雨の日にお風呂などの水を流さない取組み

雨の日にお風呂や洗濯の水を流さないことにより、河川等に流す水量が抑制されます。



● 庭に雨水が染み込む取組み

庭を花壇や砂利にすることや雨水浸透ますを設置し、雨水が染み込む取組を行うことにより、雨水の流出抑制が図られる。

(活用制度)

P11～12「雨水流出抑制施設の設置補助」



取組内容

● 止水板の設置

建物の入口等に雨水等の流入を防ぐ止水板を設置することにより、建物の浸水被害による被害の防止・軽減が図られます。

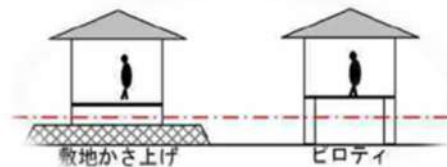
(設置補助)

P15～16「止水板の設置補助」



● 宅地の嵩上げ等の取組み

盛土等による宅地の嵩上げや建物のピロティ化などにより、建物の浸水被害による被害の防止・軽減が図られます。



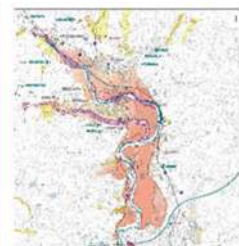
取組内容

● 各種ハザードマップの確認

河川洪水、内水、ため池等のハザードマップを平時より確認することにより、円滑な避難行動や防災意識の向上が図られます。

(参考)

P91～98、P109～110
「河川洪水ハザードマップの作成」等



● 家族や地域での助け合い

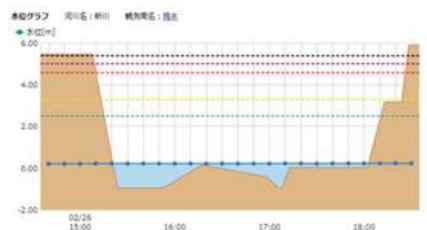
平時より家族や地域との防災の取組みに関し話などにより、自助・共助力の向上が図られます。



取組内容

● 河川の水位情報等の確認

大雨時に河川の水位や今後の降雨状況などを確認することにより、適切かつ迅速な避難行動が図られます。



● マイ避難ノートの作成

ふくしまマイ避難ノートを作成することにより、適切かつ迅速な避難行動の実現や防災意識の向上が図られます。

(参考)

P157～158「個人の避難計画を考える

(ふくしまマイ避難ノート)の周知」



● 出前講座（防災関係）への参加

市や県が実施する出前講座に参加することにより、防災に関する知識・意識の向上が図られます。

(参考)

P149～150「防災に係る出前講座の実施」

P159～160「防災意識向上のための出前講座」



● 防災訓練の実施

市や地区などが開催する防災訓練に参加することで、適切かつ迅速な避難行動の実現や防災意識の向上が図られます。



7 企業が取り組める対策

7.1 氾濫をできるだけ防ぐための対策

対象	方法	対策内容	ページ
集水域	ためる、しみこませる	雨水貯留タンク等の設置	P176
		雨水浸透施設の設置	P176
		森林の保全	P176

7.2 氾濫をできるだけ防ぐための対策

対象	方法	対策内容	ページ
氾濫域	宅地の嵩上げ等の取組み	開発行為における雨水貯留施設の設置	P177
		宅地の嵩上げ等の取組み	P177

7.3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

対象	方法	対策内容	ページ
氾濫域	防災意識の普及等	各種ハザードマップの確認	P177
		BCPの策定	P177
		避難確保計画の策定	P178
		防災訓練の実施	P178
	経済被害の最小化	施設等の水害対策	P178

取組内容

● 雨水貯留タンク等の設置

家庭に雨水貯留タンクや雨水浸透ますを設置することにより、雨水の流出抑制が図られます。

(設置補助)

P11～12「雨水流出抑制施設の設置補助」

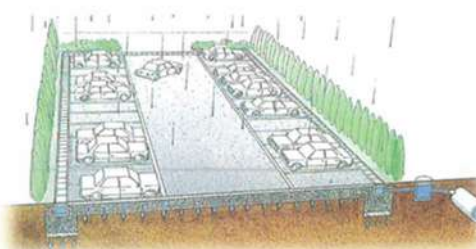


● 雨水浸透施設の設置

透水性舗装の駐車場や雨水浸透ます等を設置することにより、雨水の流出抑制が図られます。

(設置補助)

P11～12「雨水流出抑制施設の設置補助」



● 森林の保全

森林を適切に整備・管理することにより、水源かん養機能や土砂流出防止機能の維持・向上が図られる。

(活用制度)

P27～28「森林経営管理制度による森林整備の推進」



取組内容

● 開発行為における雨水貯留施設の設置

一定規模以上の開発行為において、流量調節機能をもった 雨水貯留施設の設置により、周辺の溢水等による被害の防止・軽減が図られます。

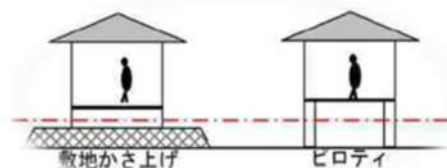
(参考)

P87～88「一定規模以上の開発行為に対して雨水貯留施設の施設管理者との協議を義務付け」



● 宅地の嵩上げ等の取組み

盛土等による宅地の嵩上げや建物のピロティ化などにより、建物の浸水被害による被害の防止・軽減が図られます。



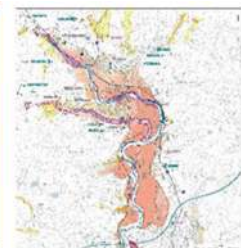
取組内容

● 各種ハザードマップの確認

河川洪水、内水、ため池等のハザードマップを平時より 確認することにより、円滑な避難行動や防災意識の向上が図られます。

(参考)

P91～98、P109～110
「河川洪水ハザードマップの作成」等



● BCP の策定

企業が BCP(事業継続計画)を策定することにより、災害時などの緊急事態において、被害を最小限に抑えるため、事業の継続や早期復旧が図られます。

(参考)

P119～120「企業のBCP策定支援の実施」



取組内容

● 防災訓練の実施

市や地区などが開催する防災訓練に参加することで、適切かつ迅速な避難行動の実現や防災意識の向上が図られます。



● 避難確保計画の策定

要配慮者等の施設において、避難確保計画を策定することにより、適切かつ迅速な避難行動の実現や防災意識の向上が図られます。

(参考)

P153～156「社会福祉施設等における避難確保計画の作成等」等



● 施設等の水害対策

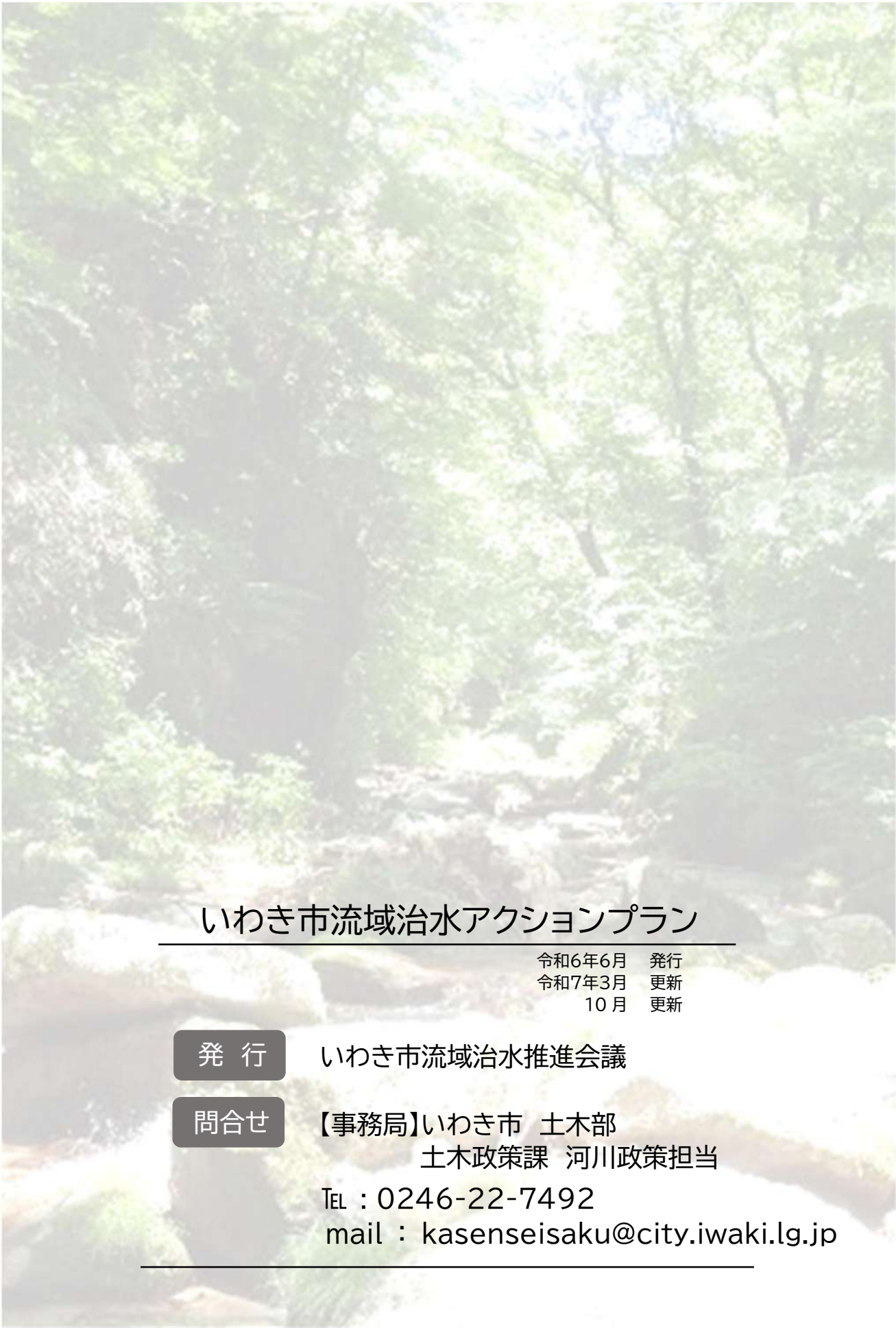
受電設備や非常用自家発電設備等を屋上に設置することにより、浸水被害の防止・軽減が図られます。

(参考)

P123～124「障がい者施設等の水害対策強化」

P125～126「高齢者施設等の水害対策強化」





いわき市流域治水アクションプラン

令和6年6月 発行
令和7年3月 更新
10月 更新

発 行

いわき市流域治水推進会議

問合せ

【事務局】いわき市 土木部
土木政策課 河川政策担当

TEL : 0246-22-7492

mail : kasenseisaku@city.iwaki.lg.jp
